

令和7年2月10日

令和6年における 特殊詐欺の状況について

(暫定値)

警視庁特殊詐欺対策本部

目 次

1 被害状況

(1) 特殊詐欺全体	・・・ 1
(2) オレオレ詐欺	・・・ 5
(3) 預貯金詐欺	・・・ 8
(4) 架空料金請求詐欺	・・・ 10
(5) 還付金詐欺	・・・ 12
(6) 融資保証金詐欺	・・・ 16
(7) 金融商品詐欺	・・・ 17
(8) ギャンブル詐欺	・・・ 18
(9) 交際あっせん詐欺	・・・ 19
(10) その他の特殊詐欺	・・・ 20
(11) キャッシュカード詐欺盗	・・・ 21
(12) 犯行予兆電話の通報件数	・・・ 23
(13) 犯行利用電話の割合	・・・ 23

2 検挙状況

(1) 特殊詐欺本犯	・・・ 24
(2) 特殊詐欺助長犯	・・・ 26

3 未然防止等の状況

(1) 未然防止全体	・・・ 27
(2) 金融機関による未然防止	・・・ 28
(3) 被害金調達状況（全体）	・・・ 29
(4) 金融機関における被害金調達	・・・ 30
(5) 金融機関窓口による未然防止率	・・・ 30
(6) 未然防止の好事例	・・・ 31

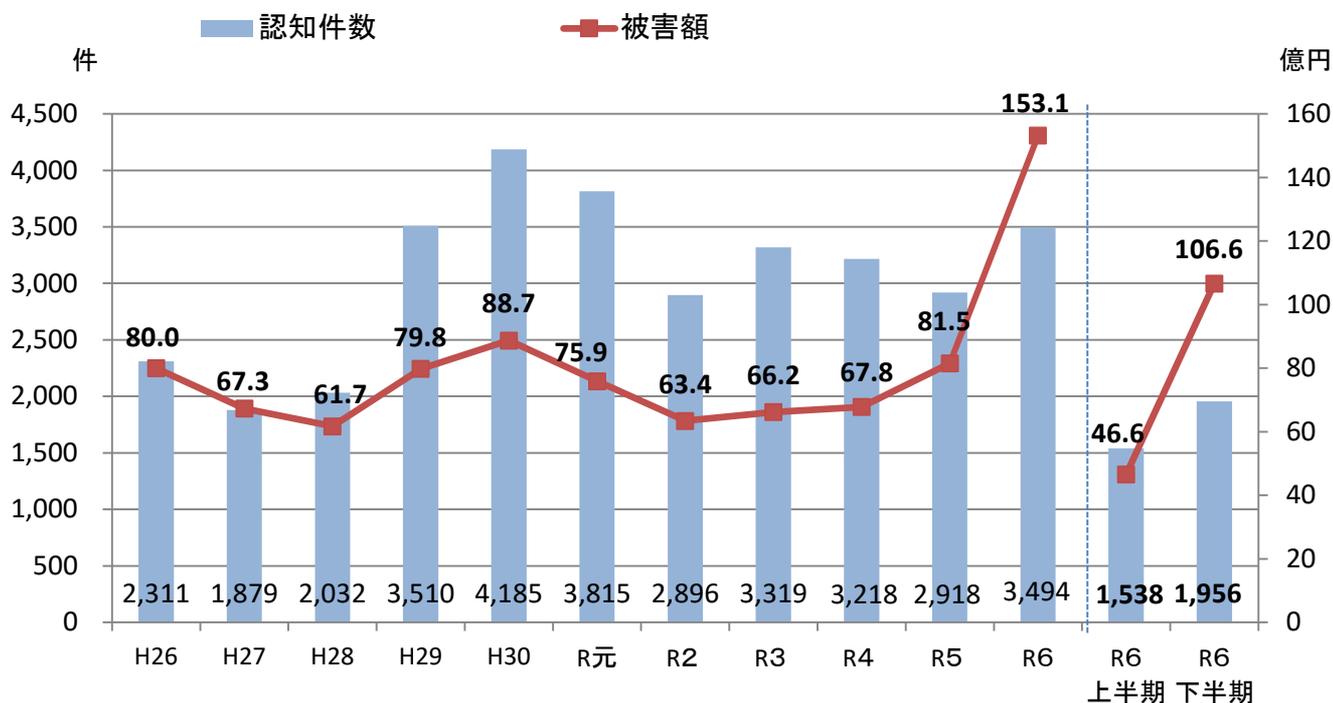
※ 本統計に関する割合の数値は、四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならないことがあるが、便宜上、合計は100%と記す（約は省略）

※ 特殊詐欺とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪（現金等を脅し取る恐喝を含む）の総称
なお、特殊詐欺は、オレオレ詐欺、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、還付金詐欺、融資保証金詐欺、金融商品詐欺、ギャンブル詐欺、交際あっせん詐欺、その他の特殊詐欺及びキャッシュカード詐欺盗の10類型に分類する

1 被害状況

(1) 特殊詐欺全体

ア 認知状況の年別推移 (H26~R6)



※ H24年からR元年まで「振り込め類似詐欺」を計上、H30年から「キャッシュカード詐欺盗」を計上

イ 令和6年における認知状況

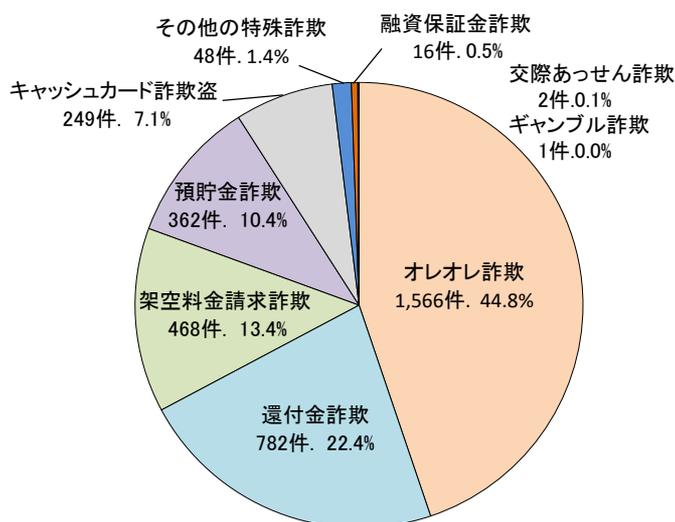
	オレオレ		預貯金		架空料金請求		還付金		融資保証金		金融商品		ギャンブル		交際あっせん		その他		キャッシュカード詐欺盗		合計	
	既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂	
認知件数	R6・12月末	1566 (1510)	362 (352)	468 (467)	782 (782)	16 (16)	0 (0)	1 (1)	2 (2)	48 (47)	249 (244)	3,494 (3,421)										
	(R5・12月末)	819 (744)	658 (643)	449 (447)	588 (586)	7 (7)	37 (37)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	347 (342)	2,918 (2,819)										
	前年比	+747 (+766)	-296 (-291)	+19 (+20)	+194 (+196)	+9 (+9)	-37 (-37)	-1 (-1)	+2 (+2)	+37 (+36)	-98 (-98)	+576 (+602)										
	増減率	+91.2% (+103.0%)	-45.0% (-45.3%)	+4.2% (+4.5%)	+33.0% (+33.4%)	+128.6% (+128.6%)	-100.0% (-100.0%)	-50.0% (-50.0%)	-	+336.4%	+327.3%	+19.7% (+21.4%)										
被害額	R6・12月末	10,885,631,564	356,776,000	1,958,287,766	1,668,608,248	17,111,322	0	28,940,000	6,912,943	105,619,823	286,179,000	15,314,066,666										
	(R5・12月末)	3,304,143,210	630,493,000	2,045,377,294	948,978,754	7,552,539	639,946,968	12,322,693	0	157,252,473	402,511,000	8,148,577,931										
	前年比	+7,581,488,354	-273,717,000	-87,089,528	+719,629,494	+9,558,783	-639,946,968	+16,617,307	+691,2943	-516,32650	-116,332,000	+7,165,488,735										
	増減率	+229.5%	-43.4%	-4.3%	+75.8%	+126.6%	-100.0%	+134.9%	-	-32.8%	-28.9%	+87.9%										
R6平均金額(既遂)		7,209,028	1,013,568	4,193,336	2,133,770	1,069,458	0	28,940,000	3,456,472	2,247,230	1,172,865	4,476,488										

※ 被害額は、カード手交後の引出金額を含む (以下同じ)

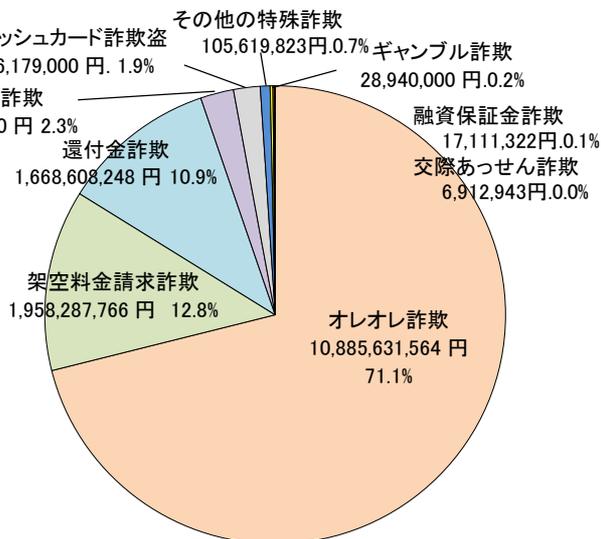
- 認知件数3,494件、被害額約153.1億円で、前年と比べ認知件数が+576件(+19.7%)増加し、被害額が約71.7億円(+87.9%)増加した。
- 手口別では前年と比べ、オレオレ詐欺、還付金詐欺が大きく増加し、預貯金詐欺、キャッシュカード詐欺盗は減少した。

ウ 類型別の認知件数及び被害額

【認知件数 3,494件】

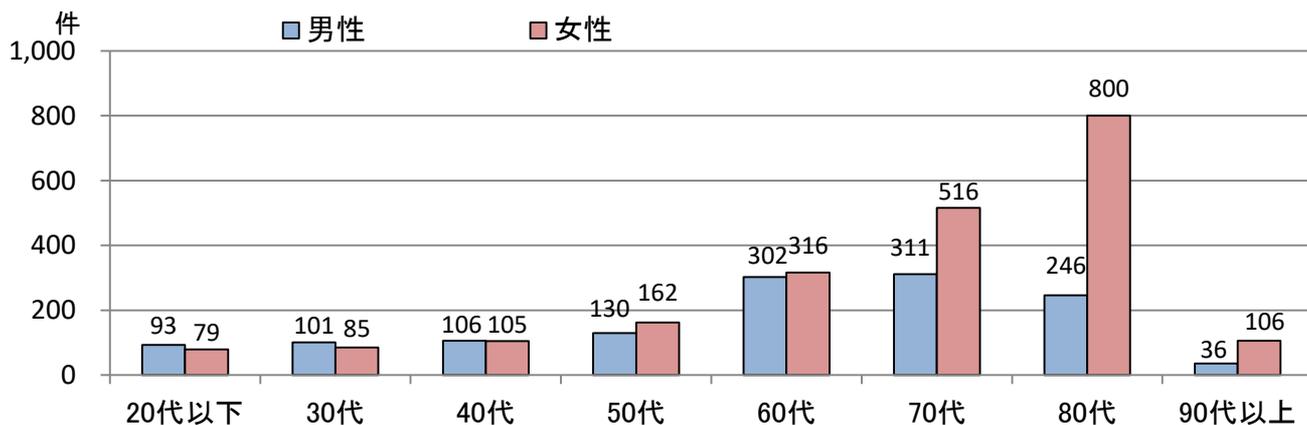


【被害額 153億1,406万6,666円】



- 認知件数は、オレオレ詐欺と還付金詐欺で全体の約7割を占める。
- 被害額は、オレオレ詐欺が全体の約7割を占める。

エ 被害者（年代別・男女別）



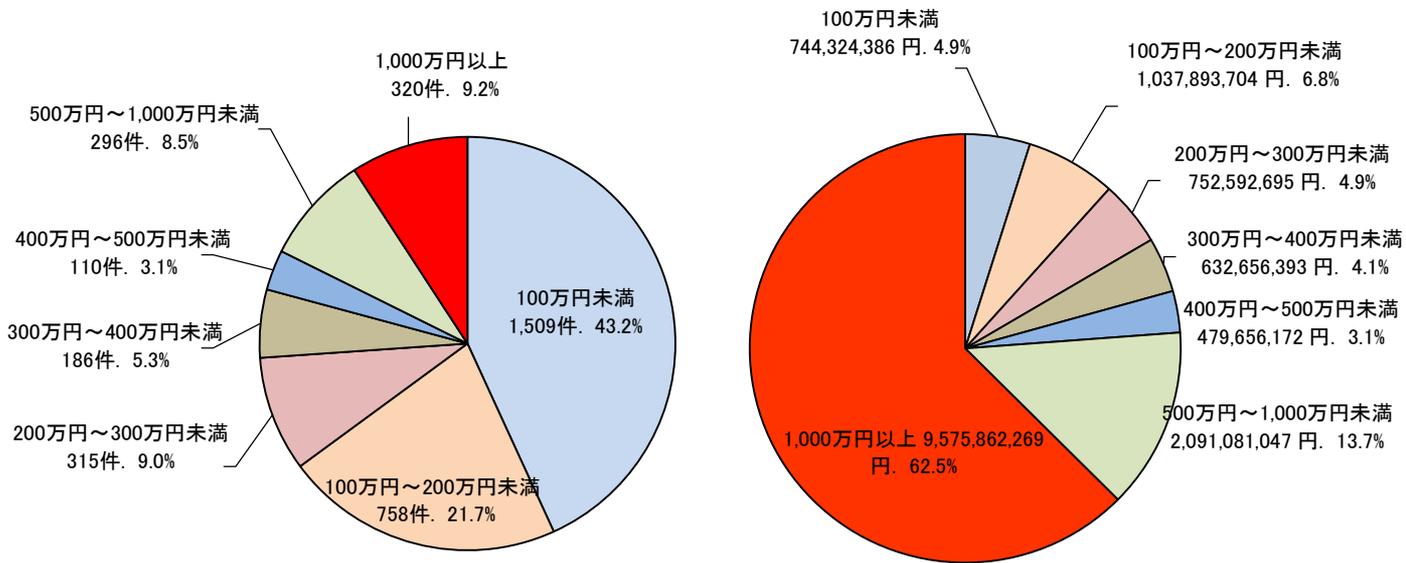
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R6年	男性	93	101	106	130	302	311	246	36	1,325	37.9%
	割合	7.0%	7.6%	8.0%	9.8%	22.8%	23.5%	18.6%	2.7%	100.0%	
	女性	79	85	105	162	316	516	800	106	2,169	
	割合	3.6%	3.9%	4.8%	7.5%	14.6%	23.8%	36.9%	4.9%	100.0%	
	合計	172	186	211	292	618	827	1,046	142	3,494	
	割合	4.9%	5.3%	6.0%	8.4%	17.7%	23.7%	29.9%	4.1%	100.0%	
	前年比	+132	+150	+156	+174	+334	+26	-369	-27	+576	
R5年	男性	13	14	22	59	121	225	280	48	782	26.8%
	割合	1.7%	1.8%	2.8%	7.5%	15.5%	28.8%	35.8%	6.1%	100.0%	
	女性	27	22	33	59	163	576	1,135	121	2,136	
	割合	1.3%	1.0%	1.5%	2.8%	7.6%	27.0%	53.1%	5.7%	100.0%	
	合計	40	36	55	118	284	801	1,415	169	2,918	
	割合	1.4%	1.2%	1.9%	4.0%	9.7%	27.5%	48.5%	5.8%	100.0%	

- 被害者の割合は、70代以上が全体の約6割を占めており、男女別では、女性が約6割を占める。

才 被害額別

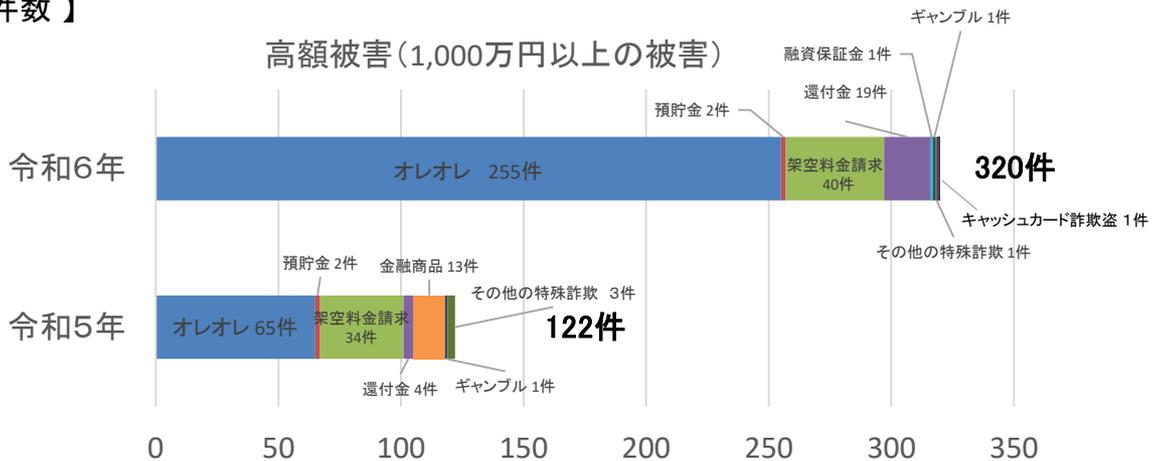
【認知件数 3,494件】

【被害額 153億1,406万6,666円】

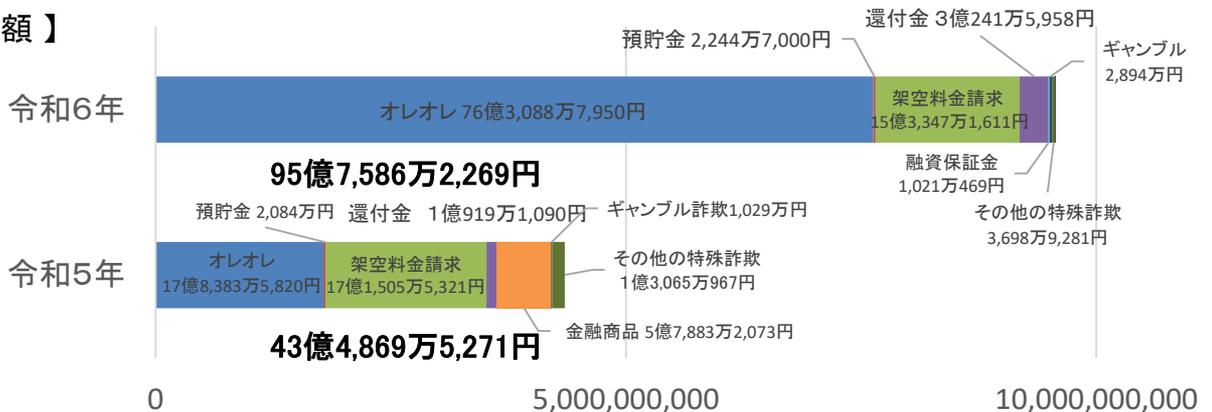


カ 高額被害 (1,000万円以上)

【認知件数】



【被害額】



キ 被害金等受取方法別

	振込	現金手交	カード手交	送付	電子マネー	コンビニ決済	ATM決済	その他不明	合計
R6年	1936	702	629	23	191	2	0	11	3,494
割合	55.4%	20.1%	18.0%	0.7%	5.5%	0.1%	0.0%	0.3%	100.0%
R5年	825	724	1,049	21	293	0	0	6	2,918
割合	28.3%	24.8%	35.9%	0.7%	10.0%	0.0%	0.0%	0.2%	100.0%

※ 被害金等受取方法が複数ある場合は、被害額が多い受取方法を計上

- ・ 電子マネー 有料サイト利用料金名目等で、コンビニエンスストア等で販売されている電子マネーを購入させ、シリアル番号を聞き出す手口
 - ・ コンビニ決済 コンビニエンスストアに設置されているマルチメディア端末等を操作させ、決済を代行させて金銭等をだまし取る手口
 - ・ ATM決済 P a y - e a s y (ペイジー)で、コンビニエンスストア以外の金融機関等に設置されているATM（現金自動預払機）等を利用させ、金銭等をだまし取る手口
- 受取方法の割合では、振込が最も高く全体の約6割を占め、次いで、現金手交が約2割を占める。
- 手交型（現金手交及びカード手交の合計）が、前年と比べ-442件(-24.9%)減少した。
- R6の振込1,936件のうち、ネットバンキングを利用したの振込は、707件で、昨年と比べ、594件増加している。

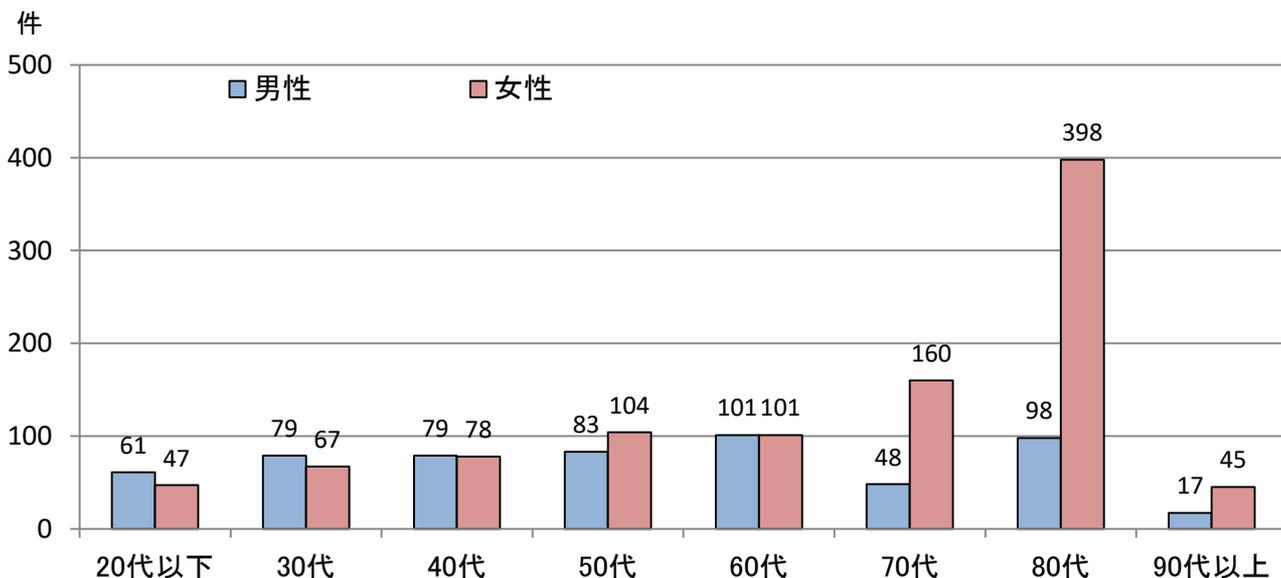
(2) オレオレ詐欺

ア 騙しの名目別

	R6年				R5年			
	認知件数	既遂	未遂	被害額	認知件数	既遂	未遂	被害額
傷害事件等示談金	0	0	0	0	0	0	0	0
横領事件等示談金	13	8	5	24,298,000	20	20	0	68,750,000
痴漢事件等示談金	0	0	0	0	2	2	0	4,000,000
妊娠中絶費用等	7	7	0	32,900,000	6	6	0	10,000,000
借金等の返済	1	1	0	800,000	4	4	0	20,180,000
損失補填金等	551	518	33	2,145,724,837	552	490	62	1,561,909,000
その他	994	976	18	8,681,908,727	235	222	13	1,639,304,210
合計	1566	1510	56	10,885,631,564	819	744	75	3,304,143,210
前年比	+747	+766	-19	+7,581,488,354				

○ 「その他」は、上記の類型に該当しないものであるが、警察官騙りが約8割を占める。

イ 被害者（年代別・男女別）



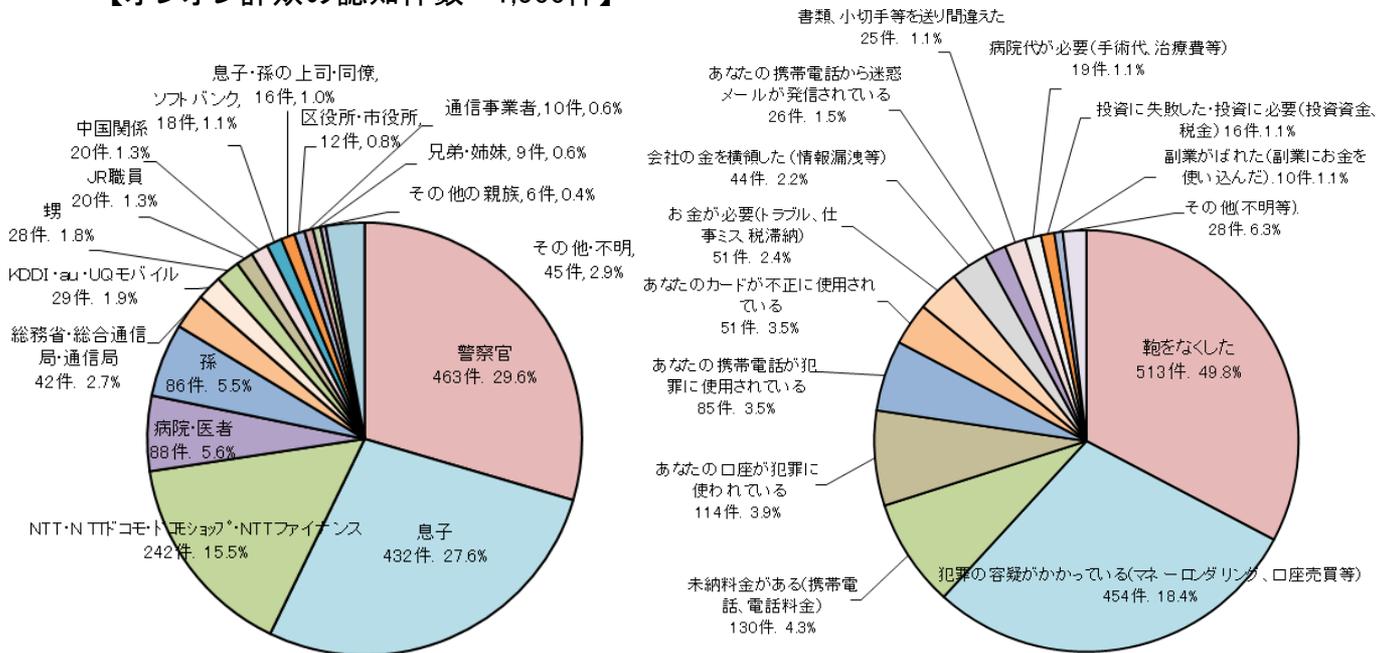
	R6年									合計	男女別・割合
	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上			
男性	61	79	79	83	101	48	98	17	566	36.1%	
割合	10.8%	14.0%	14.0%	14.7%	17.8%	8.5%	17.3%	3.0%	100.0%		
女性	47	67	78	104	101	160	398	45	1000	63.9%	
割合	4.7%	6.7%	7.8%	10.4%	10.1%	16.0%	39.8%	4.5%	100.0%		
合計	108	146	157	187	202	208	496	62	1566		
割合	6.9%	9.3%	10.0%	11.9%	12.9%	13.3%	31.7%	4.0%	100.0%		
前年比	+88	+138	+150	+181	+175	+22	-9	+2	+747		
増減率	+440.0%	+1,725.0%	+2,142.9%	+3,016.7%	+648.1%	+11.8%	-1.8%	+3.3%	+91.2%		
男性	5	4	1	2	5	29	86	18	150	18.3%	
割合	3.3%	2.7%	0.7%	1.3%	3.3%	19.3%	57.3%	12.0%	100.0%		
女性	15	4	6	4	22	157	419	42	669	81.7%	
割合	2.2%	0.6%	0.9%	0.6%	3.3%	23.5%	62.6%	6.3%	100.0%		
合計	20	8	7	6	27	186	505	60	819		
割合	2.4%	1.0%	0.9%	0.7%	3.3%	22.7%	61.7%	7.3%	100.0%		

○ 被害者の割合は、年代別では、70代以上が全体の約5割を占めており、男女別では、女性が約6割を占めている。

警察官騙りの影響で60代以下の増加が目立つ。

ウ 欺罔者(登場人物)別、欺罔文言(だまし文句)別

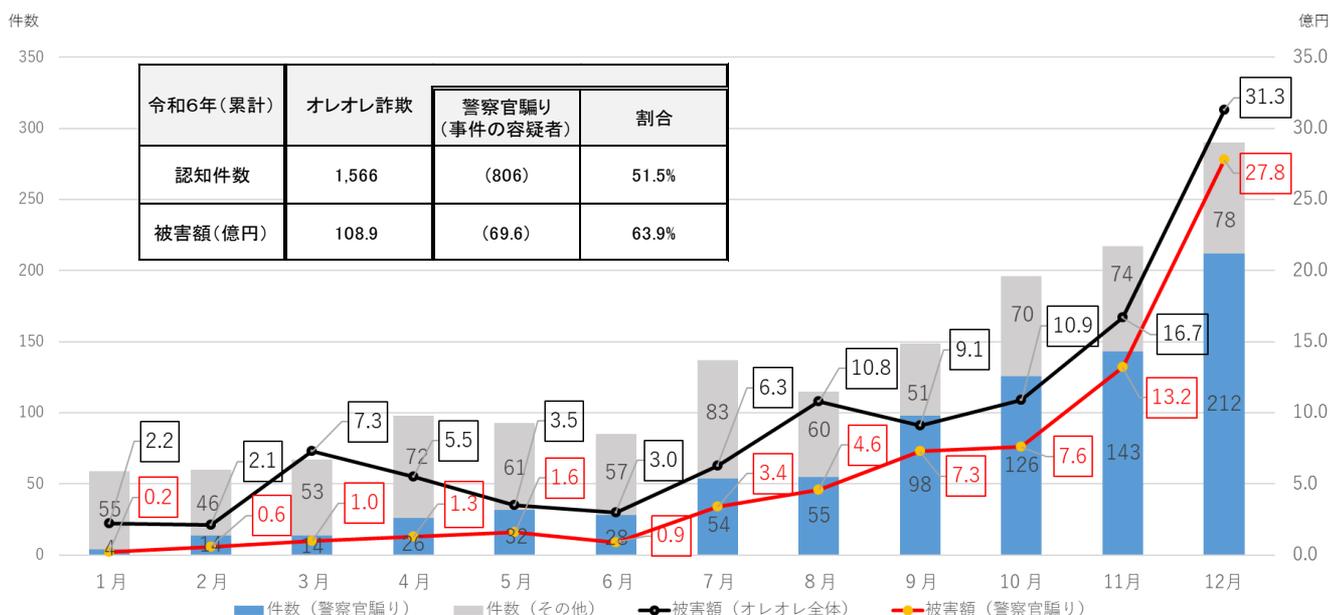
【オレオレ詐欺の認知件数 1,566件】



※ 犯人が最初に騙った人物を計上

○ 欺罔者に警察官が登場し、「あなたは事件の容疑者となっている。」等と架空の事件に巻き込み、逮捕されないための保釈金や銀行口座を調査する名目で、犯人の管理する口座に現金を振り込ませる等して、騙し取る手口が増加している。

エ オレオレ詐欺における警察官騙り(※あなたは事件の容疑者)の割合

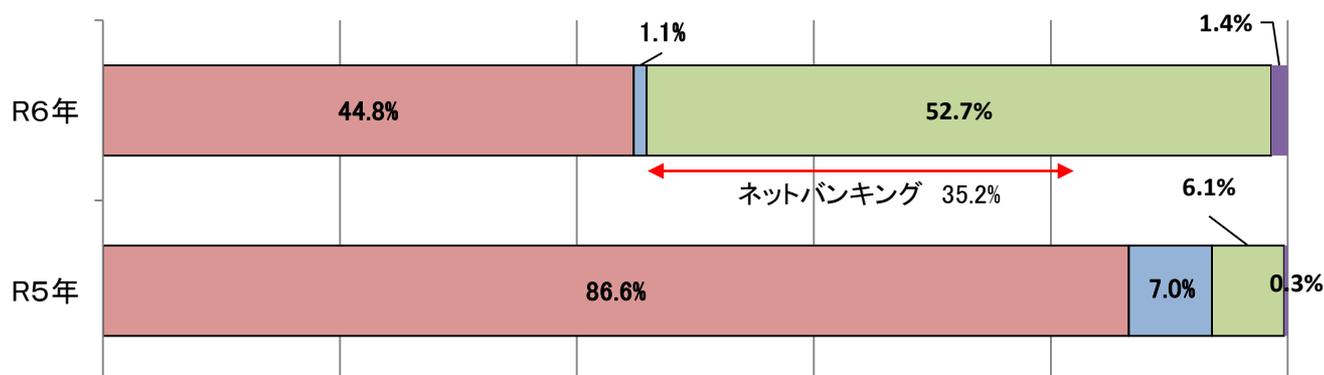


オ 被害金等受取方法別

	現金			キャッシュカード		その他 不明	合計
	手交	振込	送付	手交	送付		
R6年	701	825	16	18	0	6	1566
割合	44.8%	52.7%	1.0%	1.1%	0.0%	0.4%	100.0%
前年比	-8	+775	+14	-39	±0	+5	+747
増減率	-1.1%	+1,550.0%	-	-68.4%	-	-	+91.2%
R5年	709	50	2	57	0	1	819
割合	86.6%	6.1%	0.2%	7.0%	0.0%	0.1%	100.0%

※ 被害金等受取方法が複数ある場合は、被害額が多い受取方法を計上

■ 現金手交 ■ キャッシュカード手交 ■ 振込 ■ その他(送付含む。)



※ R6年の振込825件のうち、ネットバンキングを利用した振込は、551件で、昨年と比べ、521件増加している。

【オレオレ詐欺の主な手口】

○ 鞆を無くした(損失補填金等)

親族等を装い、「病院、駅、喫茶店のトイレ等に会社で必要な大事な物(小切手等)が入った鞆を置き忘れて(盗まれて)困っている。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口

○ 会社の大事な書類等の送り先を間違えた(損失補填金等)

親族等を装い、「会社で使う大事な書類又は荷物、郵便物などの送り先を間違えてしまい、お金が必要になった。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口

○ 会社の金を使い込んだ

親族等を装い、「会社のお金を使って株又は投資に失敗してしまった。今日、監査が入る。穴埋めのお金を貸してくれないか。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口

○ 『偽札』にすり替えられている

警察官等を装い、「犯人を逮捕しました。あなたの家に侵入して、お金を偽札にすり替えたようです。お金を確認するため、警察官を自宅に向かわせます。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口

○ あなたは事件の『容疑者』となっている

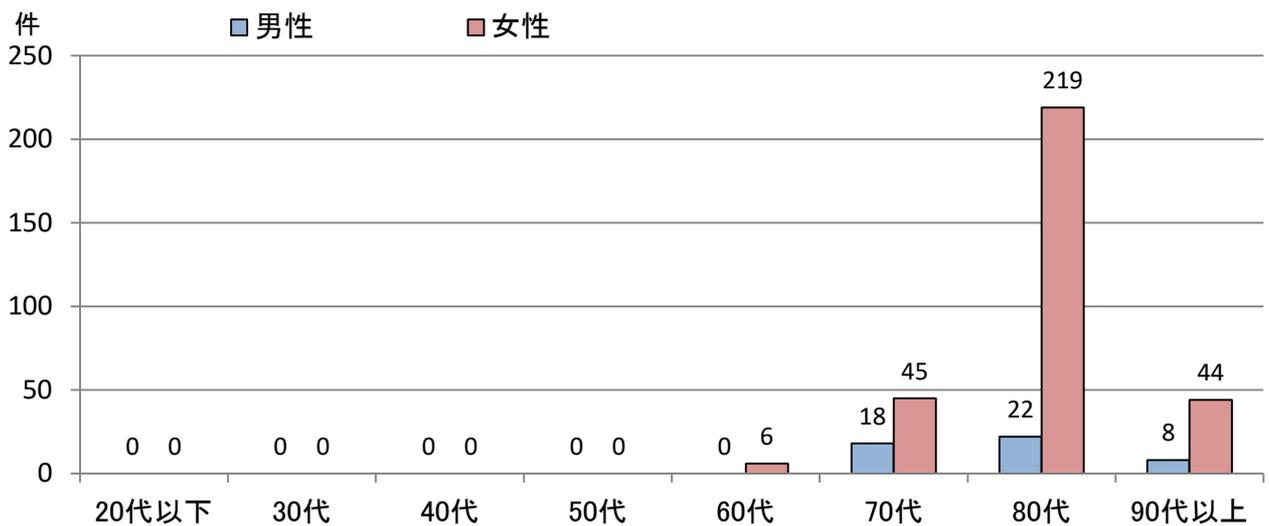
警察官や検察官を装い、「あなた名義の銀行口座が犯罪に使われ、あなたは事件の容疑者となっている。」等と架空の事件に巻き込み、逮捕されないための保釈金や銀行口座を調査する名目で、犯人の管理する口座に現金を振り込ませる等して、現金等をだまし取る手口

(3) 預貯金詐欺

ア 手口別認知件数

	R6年				R5年			
	認知件数	既遂	未遂	被害額	認知件数	既遂	未遂	被害額
職権(公務員等)	302	294	8	280,631,000	542	531	11	540,211,000
留守宅(親族)	0	0	0	0	0	0	0	0
受託(公務員及び親族以外)	60	58	2	76,145,000	116	112	4	90,282,000
合計	362	352	10	356,776,000	658	643	15	630,493,000
前年比	-296	-291	-5	-273,717,000				

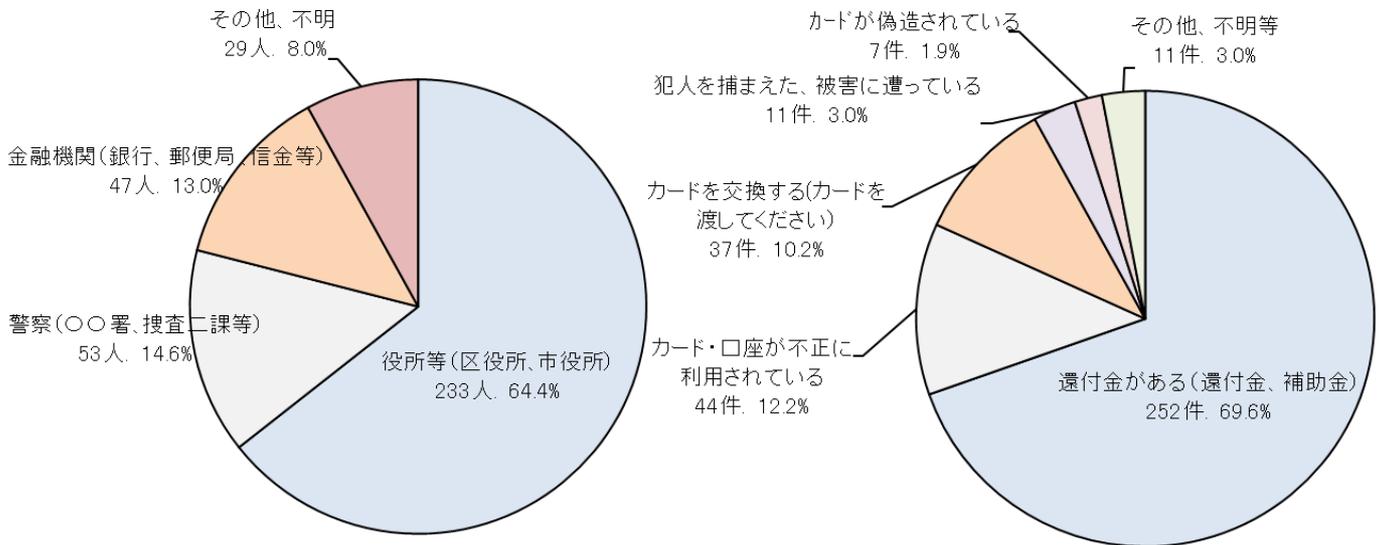
イ 被害者(年代別・男女別)



		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合	
		R6年	男性	0	0	0	0	0	18	22		8
割合	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	45.8%	16.7%	100.0%		
女性	0		0	0	0	6	45	219	44	314	86.7%	
割合	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	14.3%	69.7%	14.0%	100.0%		
合計	0		0	0	0	6	63	241	52	362		
割合	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	17.4%	66.6%	14.4%	100.0%		
前年比	±0		±0	±0	-3	±0	-72	-188	-32	-295		
増減率	-	±0.0%	-	-100.0%	±0.0%	-53.3%	-43.8%	-38.1%	-44.8%			
R5年	男性	0	1	0	0	3	8	36	16	64	9.7%	
	割合	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	4.7%	12.5%	56.3%	25.0%	100.0%		
	女性	0	0	0	3	3	127	393	68	594		90.3%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.5%	21.4%	66.2%	11.4%	100.0%		
	合計	0	1	0	3	6	135	429	84	658		
割合	0.0%	0.2%	0.0%	0.5%	0.9%	20.5%	65.2%	12.8%	100.0%			

ウ 欺罔者(登場人物)、欺罔文言(だまし文句)別

【認知件数 362件】



※ 犯人が最初に騙った人物を計上

【預貯金詐欺とは】

○ 職権(公務員等)

警察官、金融庁、市役所等の公務員又は公益事業者(水道局、電気会社、ガス会社等)等の職員を騙り、カード交換などの名目でキャッシュカード等をだまし取る手口

○ 受託(公務員及び親族以外)

百貨店店員、家電量販店店員、銀行協会等を騙り、公務員、親族以外の者に成りすまして、カード交換などの名目でキャッシュカードをだまし取る手口

○ 還付金がある

区・市役所の職員等を騙り、「市役所の者です。年金の還付金があります。銀行振込できますが、あなたのキャッシュカードは古いので、交換する必要があります。」等とうそを言い、キャッシュカードをだまし取る手口

○ あなたのカードが犯罪に使われている

警察官等を騙り、「犯人を逮捕しました。あなたの口座からお金が引き出されています。カードはお持ちですか。偽造されている可能性があるので、カードと暗証番号を変更する必要があります。」等とうそを言い、キャッシュカードをだまし取る手口

○ キャッシュカードに切れ込みやパンチで穴を開け安心させる

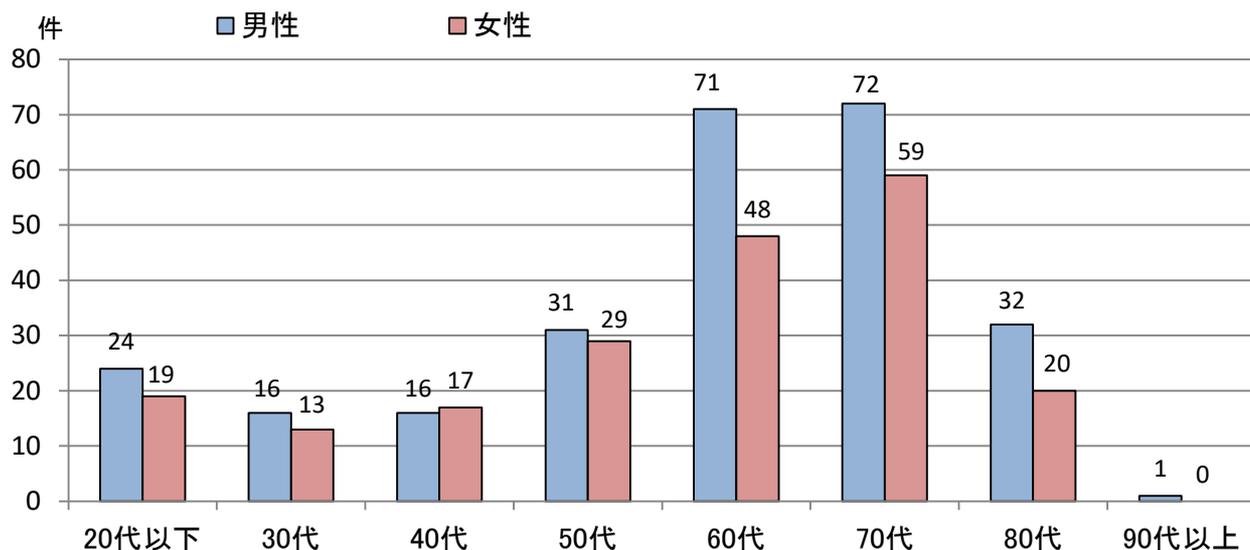
警察官等を騙り「キャッシュカードが不正に使用され、あなたの口座からお金が引き出されています。」等とうそを言い、キャッシュカードに切れ込みを入れ(パンチで穴を開け)、もう使えなくなったと安心させて、キャッシュカードをだまし取る手口

(4) 架空料金請求詐欺

ア 騙しの名目別

	R6年				R5年			
	認知件数	既遂	未遂	被害額	認知件数	既遂	未遂	被害額
有料サイト利用料金等	166	166	0	866,027,687	135	135	0	959,206,857
名義貸しトラブル等	2	2	0	56,000,000	7	5	2	135,100,000
情報買取抹消料金等	0	0	0	0	0	0	0	0
訴訟関係費用等	0	0	0	0	2	2	0	20,066,903
サポート	162	162	0	89,484,986	233	233	0	165,562,270
その他	138	137	1	946,775,093	72	72	0	765,441,264
合計	468	467	1	1,958,287,766	449	447	2	2,045,377,294
前年比	+19	+20	-1	-87,089,528				

イ 被害者（年代別・男女別）



		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R6年	男性	24	16	16	31	71	72	32	1	263	56.2%
	割合	9.1%	6.1%	6.1%	11.8%	27.0%	27.4%	12.2%	0.4%	100.0%	
	女性	19	13	17	29	48	59	20	0	205	
	割合	9.3%	6.3%	8.3%	14.1%	23.4%	28.8%	9.8%	0.0%	100.0%	
	合計	43	29	33	60	119	131	52	1	468	
	割合	9.2%	6.2%	7.1%	12.8%	25.4%	28.0%	11.1%	0.2%	100.0%	
	前年比	+25	+10	+1	-8	+4	-3	-7	-3	+19	
	増減率	+138.9%	+52.6%	+3.1%	-11.8%	+3.5%	-2.2%	-11.9%	-75.0%	+4.2%	
R5年	男性	8	6	16	42	61	81	43	2	259	57.7%
	割合	3.1%	2.3%	6.2%	16.2%	23.6%	31.3%	16.6%	0.8%	100.0%	
	女性	10	13	16	26	54	53	16	2	190	
	割合	5.3%	6.8%	8.4%	13.7%	28.4%	27.9%	8.4%	1.1%	100.0%	
	合計	18	19	32	68	115	134	59	4	449	
	割合	4.0%	4.2%	7.1%	15.1%	25.6%	29.8%	13.1%	0.9%	100.0%	

ウ 被害金等受取方法別

	現金				キャッシュカード		コンビニ決済	ATM決済 (ペイジー)	その他 不明	合計
	電子マネー	手交	振込	送付	手交	送付				
R6年	191	1	263	6	0	0	2	0	5	468
割合	40.8%	0.2%	56.2%	1.3%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	1.1%	100.0%
前年比	-101	-1	+129	-13	±0	±0	+2	±0	+3	+19
増減率	-34.6%	-50.0%	+96.3%	-68.4%	-	-	-	-	+150.0%	+4.2%
R5年	292	2	134	19	0	0	0	0	2	449
割合	65.0%	0.4%	29.8%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	100.0%

※ 被害金等受取方法が複数ある場合は、被害額が多い受取方法を計上

- 受取方法の割合では、振込が最も高く、全体の約6割を占め、次いで電子マネーが約4割を占める。

【架空料金請求詐欺の主な手口】

○ サポート詐欺

パソコンやタブレット端末で動画やWEBサイトなどを閲覧しているときに、「ウイルスに感染しました。この電話番号におかけ下さい。」などの警告画面が表示され、指定された電話番号に連絡すると、相手側が遠隔操作プログラムのインストールを指示し、遠隔操作によるウイルス除去等のサポートを装い、その費用名目に現金振込や電子マネーカードの購入などを要求し、金銭等をだまし取る手口

○ 有料サイト利用料金等名目

パソコン、携帯電話等に「有料サイトの利用料金等が未納である」という内容のメールを送信し、指定された電話番号に電話すると、「利用料金や延滞料金等を支払わないと訴訟になる。」等とうそを言い、金銭等をだまし取る手口

○ 『NTTファイナンス』騙り

「NTTファイナンスお客様サポートセンター」や「NTT」を騙り、携帯電話等に「料金の未払い金がある」という内容のメール（SMS等）を送信し、指定された電話番号に電話すると、「有料サイトの未納料金がある」などと言われ、未払い料金名目で金銭を要求される。

これに応じて金銭の支払いをすると、その後、個人データ保護協会、セキュリティ協会などを騙る者から「あなたの携帯電話がウイルスに感染して損害を与えた」などと言われ、架空のトラブルに巻き込み、損害賠償、慰謝料等の様々な名目で金銭を要求され、最終的には、「資産に犯罪収益がないか金融庁が確認する」、「資産を安全な場所に移動する」などと言われて、全資産を振り込むように要求される手口。

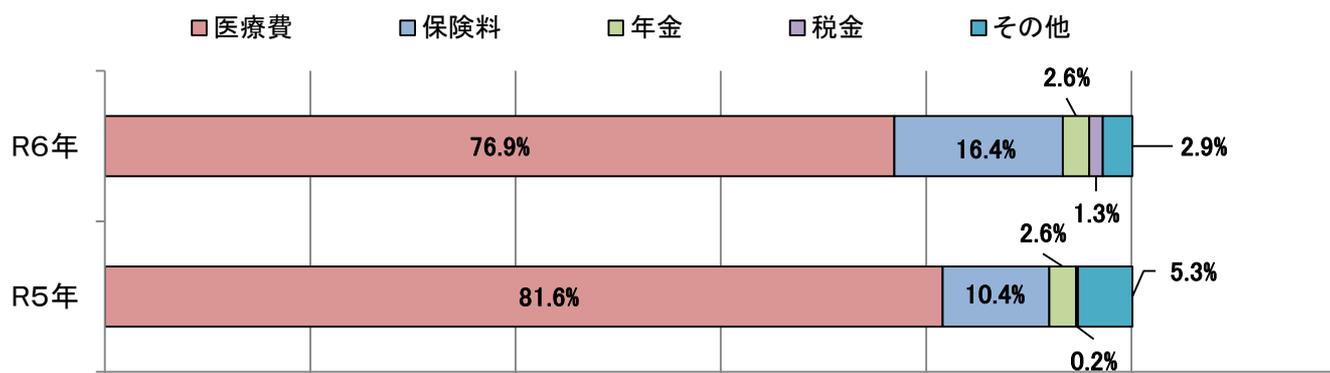
信じて支払いを続けると被害が長期間に渡るため、高額被害になりやすい。

(5) 還付金詐欺

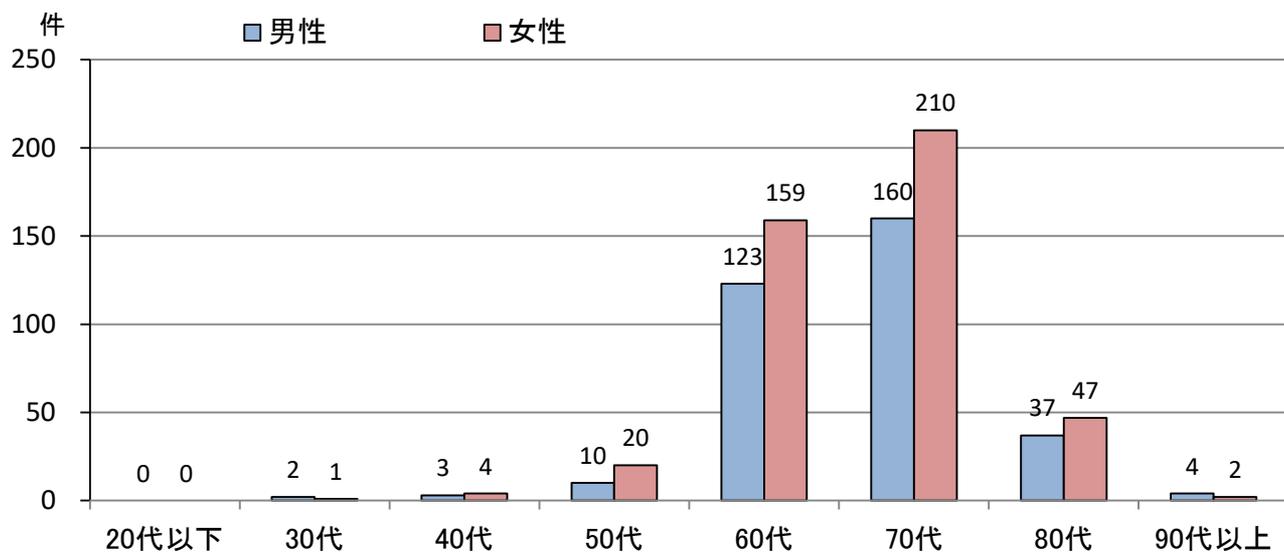
ア 騙しの名目別（認知件数）

	認知件数	R6年			認知件数	R5年		
		既遂	未遂	被害額		既遂	未遂	被害額
医療費	601	601	0	1,292,703,384	480	479	1	803,304,291
健康保険・社会保険等	128	128	0	263,403,171	61	61	0	85,953,560
年金	20	20	0	42,977,426	15	14	1	14,146,878
税金	10	10	0	20,817,514	1	1	0	565,937
その他	23	23	0	48,706,753	31	31	0	45,008,088
合計	782	782	0	1,668,608,248	588	586	2	948,978,754
前年比	+194	+196	-2	+719,629,494				

イ 騙しの名目別（割合）



ウ 被害者（年代別・男女別）



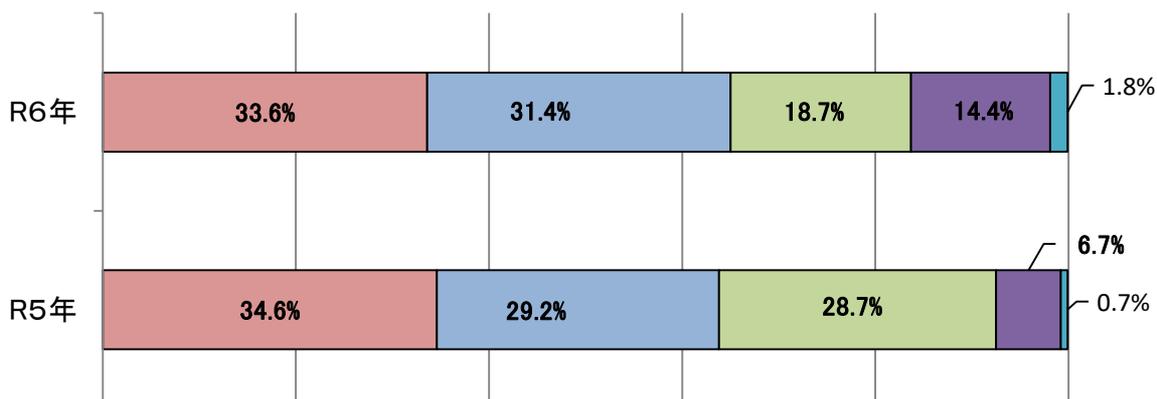
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R6年	男性	0	2	3	10	123	160	37	4	339	43.4%
	割合	0.0%	0.6%	0.9%	2.9%	36.3%	47.2%	10.9%	1.2%	100.0%	
	女性	0	1	4	20	159	210	47	2	443	56.6%
	割合	0.0%	0.2%	0.9%	4.5%	35.9%	47.4%	10.6%	0.5%	100.0%	
	合計	0	3	7	30	282	370	84	6	782	
	割合	0.0%	0.4%	0.9%	3.8%	36.1%	47.3%	10.7%	0.8%	100.0%	
	前年比	±0	±0	+2	+6	+163	+92	-69	±0	+194	
増減率	-	±0.0%	+40.0%	+25.0%	+137.0%	+33.1%	-45.1%	±0.0%	+33.0%		
R5年	男性	0	0	2	7	40	95	81	5	230	39.1%
	割合	0.0%	0.0%	0.9%	3.0%	17.4%	41.3%	35.2%	2.2%	100.0%	
	女性	0	3	3	17	79	183	72	1	358	60.9%
	割合	0.0%	0.8%	0.8%	4.7%	22.1%	51.1%	20.1%	0.3%	100.0%	
	合計	0	3	5	24	119	278	153	6	588	
割合	0.0%	0.5%	0.9%	4.1%	20.2%	47.3%	26.0%	1.0%	100.0%		

○ 被害者の割合は、70代以上が全体の約6割を占めており、男女別では、女性が若干多い。60代の増加が目立つ。

エ 場所別の振込回数（被害者が誘導され振込んだ場所）

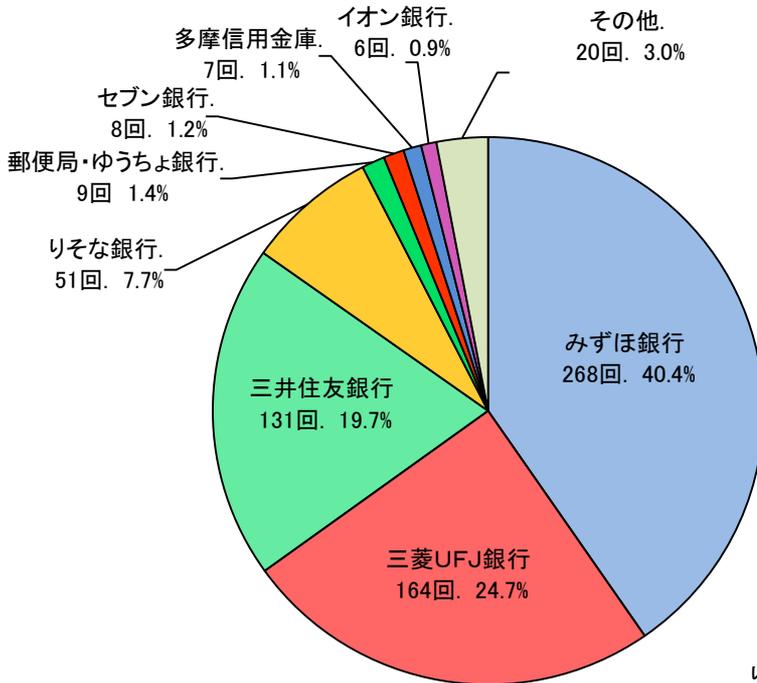
	金融機関 無人ATM	金融機関 店舗内ATM	コンビニ ATM	ネットバン キング	その他 不明	合計
R6年	664	621	370	285	35	1975
割合	33.6%	31.4%	18.7%	14.4%	1.8%	100.0%
R5年	458	386	380	89	9	1,322
割合	34.6%	29.2%	28.7%	6.7%	0.7%	100.0%

■金融機関無人ATM ■金融機関店舗内ATM ■コンビニATM ■ネットバンキング ■その他・不明



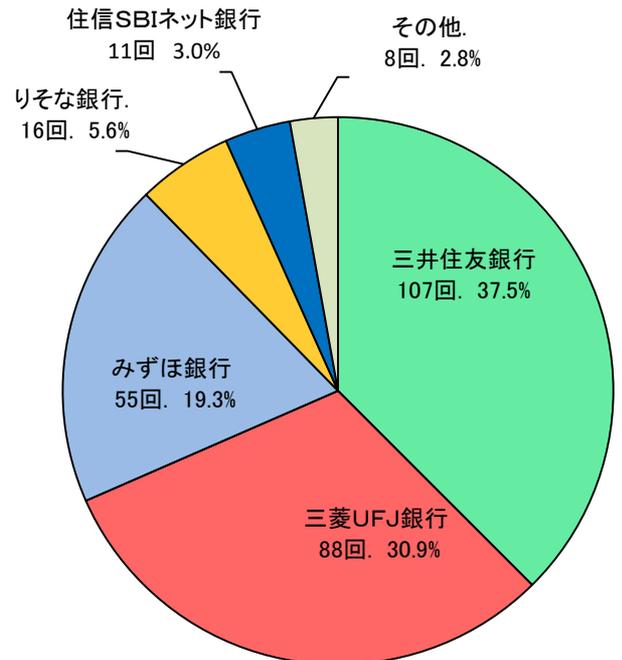
金融機関別【無人ATM】

【振込回数 664回】



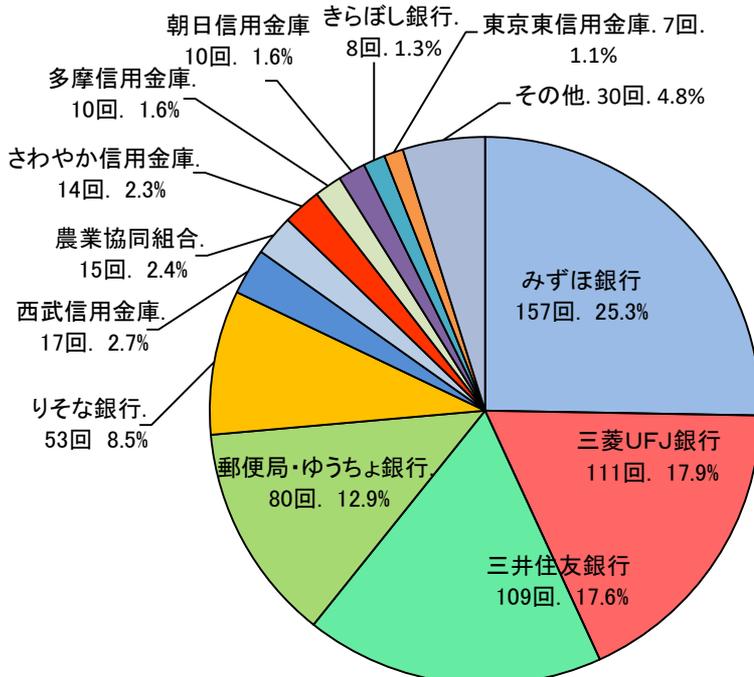
金融機関別【ネットバンキング】

【振込回数 285回】



金融機関別【店舗内ATM】

【振込回数 621回】



オ 口座別の振込回数等（被害者が開設・利用していた口座）

振込の回数

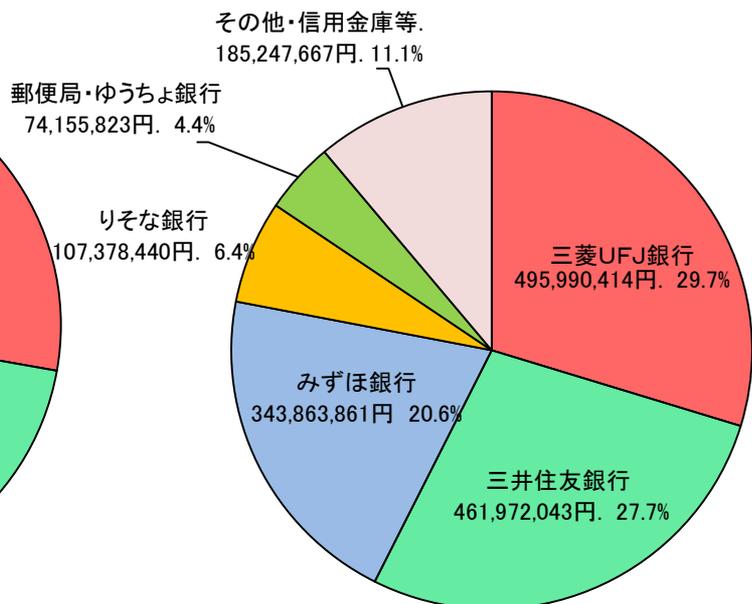
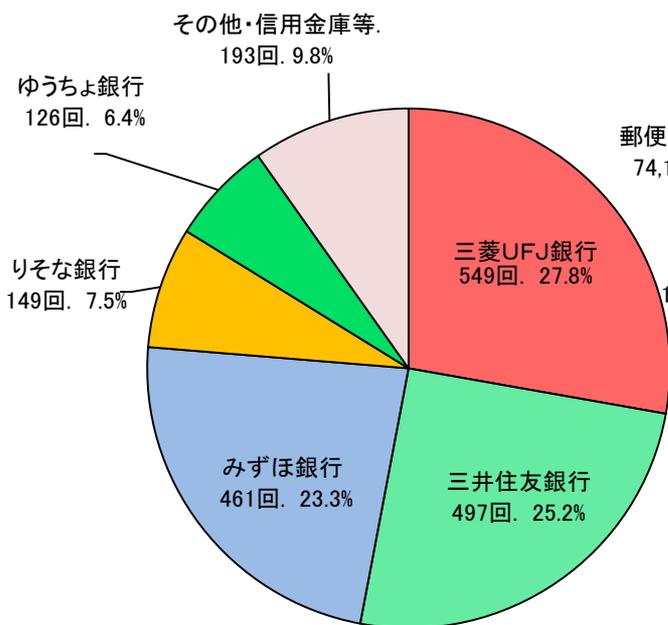
	みずほ銀行	三井住友銀行	三菱UFJ銀行	郵便局・ゆうちょ銀行	りそな銀行	その他金融機関	合計
R6年	461	497	549	126	149	193	1,975
割合	23.3%	25.2%	27.8%	6.4%	7.5%	9.8%	100.0%
R5年	363	321	270	120	97	151	1,322
割合	27.5%	24.3%	20.4%	9.1%	7.3%	11.4%	100.0%

振込被害金額

	みずほ銀行	三井住友銀行	三菱UFJ銀行	郵便局・ゆうちょ銀行	りそな銀行	その他金融機関	合計
R6年	343,863,861	461,972,043	495,990,414	74,155,823	107,378,440	185,247,667	1,668,608,248
割合	20.6%	27.7%	29.7%	4.4%	6.4%	11.1%	100.0%
R5年	250,143,430	242,543,900	190,594,083	56,188,444	39,412,435	170,096,462	948,978,754
割合	26.4%	25.6%	20.1%	5.9%	4.2%	17.9%	100.0%

【振込回数 1,975回】

【振込被害金額 16億6,860万8,248円】



(6) 融資保証金詐欺

ア 認知件数

	認知件数	R6年			認知件数	R5年		
		既遂	未遂	被害額		既遂	未遂	被害額
融資保証金	16	16	0	17,111,322	7	7	0	7,552,539
合計	16	16	0	17,111,322	7	7	0	7,552,539
前年比	+9	+9	±0	+9,558,783				

イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R6年	男性	3	1	3	1	1	0	0	
割合	33.3%		11.1%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
女性	3		0	1	3	0	0	0	0	7	
割合	42.9%		0.0%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計	6		1	4	4	1	0	0	0	16	
割合	37.5%		6.3%	25.0%	25.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	前年比	+6	±0	+1	+4	-1	-1	±0	±0	+9	
	増減率	—	±0.0%	+33.3%	—	-50.0%	-100.0%	—	—	+128.6%	
R5年	男性	0	1	3	0	2	1	0	0	7	100.0%
	割合	0.0%	14.3%	42.9%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	割合	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0%	
	合計	0	1	3	0	2	1	0	0	7	
	割合	0.0%	14.3%	42.9%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%	

【融資保証金詐欺とは】

融資を申し込んできた者に対し、実際は融資をしないにもかかわらず、保証金等の名目で金銭等をだまし取る(脅し取る)手口

【手口例】

- 被害者宅（事務所）に、「融資できます。手続きのため、先に手数料や担保金を振り込む必要がありますが、後で返金します。」等の内容の融資に関するFAXを送信し、融資を受けたいがために連絡をしてきた被害者から金銭等をだまし取るもの

(7) 金融商品詐欺

ア 騙しの名目別

	認知件数	R6年			認知件数	R5年		
		既遂	未遂	被害額		既遂	未遂	被害額
有価証券等	0	0	0	0	7	7	0	279,487,755
外国通貨	0	0	0	0	26	26	0	337,721,775
物品	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(上記以外)	0	0	0	0	4	4	0	22,737,438
合計	0	0	0	0	37	37	0	639,946,968
前年比	-37	-37	±0	-639,946,968				

イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R6年	男性	0	0	0	0	0	0	0	0
割合	—		—	—	—	—	—	—	—	0.0%	
女性	0		0	0	0	0	0	0	0	0	
割合	—		—	—	—	—	—	—	—	0.0%	
合計	0		0	0	0	0	0	0	0	0	
割合	—		—	—	—	—	—	—	—	0.0%	
R5年	前年比	-2	-3	-2	-12	-10	-6	-2	±0	-37	
	増減率	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	—	—	—	-100.0%	
	男性	0	1	0	6	7	3	2	0	19	51.4%
	割合	0.0%	5.3%	0.0%	31.6%	36.8%	15.8%	10.5%	0.0%	100.0%	
	女性	2	2	2	6	3	3	0	0	18	
	割合	11.1%	11.1%	11.1%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計	2	3	2	12	10	6	2	0	37		
割合	5.4%	8.1%	5.4%	32.4%	27.0%	16.2%	5.4%	0.0%	100.0%		

【金融商品詐欺とは】

手形、小切手、株券及び社債券等の有価証券や、外国通貨及び物品等の購入名目等で金銭等をだまし取る手口

【手口例】

- 未公開株や社債などへの投資や商品購入に関するSMSが突然届き、「指定された口座に入金するだけで、入金額に比例した融資を受けて未公開株の購入ができます」等とうそを言い、金融商品の購入を装って、現金等をだまし取るもの

(8) ギャンブル詐欺

ア 騙しの名目別

	認知件数	R6年			認知件数	R5年		
		既遂	未遂	被害額		既遂	未遂	被害額
パチンコ必勝法等	0	0	0	0	0	0	0	0
競馬必勝法等	1	1	0	28,940,000	2	2	0	12,322,693
宝くじ当選情報等	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(上記以外)	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	1	0	28,940,000	2	2	0	12,322,693
前年比	-1	-1	±0	+16,617,307				

イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R6年	男性	0	0	0	0	0	0	0	
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	0.0%
	女性	0	0	0	1	0	0	0	0	1	100.0%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
	合計	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	前年比	±0	±0	-1	+1	-1	±0	±0	±0	-1	
	増減率	-	-	-100.0%	-	-100.0%	-	-	-	-50.0%	
R5年	男性	0	0	0	0	1	0	0	0	1	50.0%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
	女性	0	0	1	0	0	0	0	0	1	50.0%
	割合	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
	合計	0	0	1	0	1	0	0	0	2	
	割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

【ギャンブル詐欺とは】

パチンコ、競馬及び競輪等の必勝法情報購入等の名目で金銭等をだまし取る手口

【手口例】

- 被害者の携帯電話に「当社はお客様から出資金を募り、馬券を代理購入する会社です。当社が独自に持っている有力な競馬情報を元に、お客様の代わりに馬券を購入して、馬券が当たればお客様の銀行口座に払戻金を振り込みます。今、キャンペーン中で、会員登録して頂きますと5,000円をプレゼントします。」等のメールを送信し、被害者に会員登録させて掛金や手数料名目に犯人の指定した口座に現金を振り込ませ、だまし取るもの

(9) 交際あっせん詐欺

ア 認知件数

	認知件数	R6年			認知件数	R5年		
		既遂	未遂	被害額		既遂	未遂	被害額
交際あっせん	2	2	0	6,912,943	0	0	0	0
合計	2	2	0	6,912,943	0	0	0	0
前年比	+2	+2	±0	+6,912,943				

イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R6年	男性	0	1	0	0	0	0	1	
割合	-		-	-	-	-	-	-	-	0.0%	
女性	0		0	0	0	0	0	0	0	0	
割合	-		-	-	-	-	-	-	-	0.0%	
合計	0		1	0	0	0	0	1	0	2	
割合	-		-	-	-	-	-	-	-	0.0%	
前年比	±0	+1	±0	±0	±0	±0	+1	±0	+2		
増減率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
R5年	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	

【交際あっせん詐欺とは】

不特定多数が購入する雑誌や誰でも閲覧できる掲示板等に「異性紹介」などと掲載したり、不特定多数の者に異性を紹介する旨のメールを送信、架電するなどして、これに応じて会員登録を申し込んできた者に対して会員登録料や保証金等の名目で現金等をだまし取る手口

【手口例】

- 被害者の携帯電話に「あなたに合った女性を紹介します。」等を内容とする出会い系サイトのメールを送信し、被害者が興味を持って、メールに記載された電話番号に電話をかけたところ、電話に出た者が、「男性会員は入会金無料です。女性を紹介するので保証金を当社にお支払いください。」等と言い、現金等をだまし取るもの

(10) **その他の特殊詐欺**

ア 認知件数

	認知件数	R6年			認知件数	R5年		
		既遂	未遂	被害額		既遂	未遂	被害額
その他の特殊詐欺	48	47	1	105,619,823	11	11	0	157,252,473
合計	48	47	1	105,619,823	11	11	0	157,252,473
前年比	+37	+36	+1	-51,632,650				

イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R6年	男性	5	2	4	4	5	4	0	
割合	20.8%		8.3%	16.7%	16.7%	20.8%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%	
女性	10		4	5	2	1	2	0	0	24	
割合	41.7%		16.7%	20.8%	8.3%	4.2%	8.3%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計	15		6	9	6	6	6	0	0	48	
割合	31.3%		12.5%	18.8%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	100.0%	
R5年	前年比	+15	+5	+4	+3	+4	+6	±0	±0	+37	
	増減率	-	+500.0%	+80.0%	+100.0%	+200.0%	-	-	-	+336.4%	
	男性	0	1	0	1	1	0	0	0	3	27.3%
	割合	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女性	0	0	5	2	1	0	0	0	8	
	割合	0.0%	0.0%	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計	0	1	5	3	2	0	0	0	11		
割合	0.0%	9.1%	45.5%	27.3%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		

【その他の特殊詐欺とは】

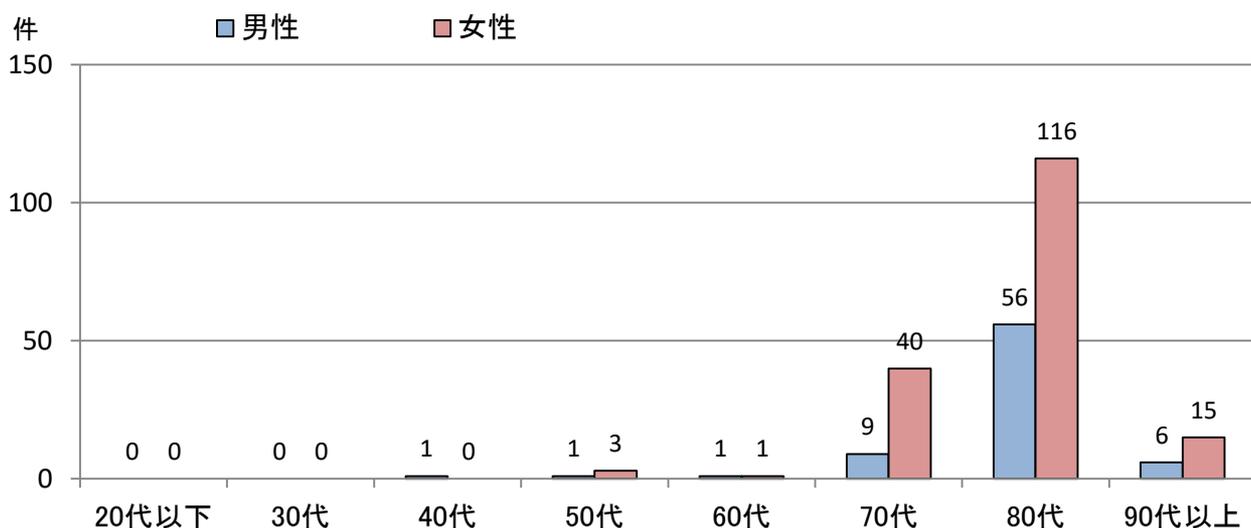
オレオレ詐欺、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金詐欺、金融商品詐欺、ギャンブル詐欺、交際あっせん詐欺の類型に該当しない特殊詐欺

(11) キャッシュカード詐欺盗

ア 手口別認知件数

	認知件数	R6年			認知件数	R5年		
		既遂	未遂	被害額		既遂	未遂	被害額
職権盗	236	231	5	274,967,000	261	258	3	297,616,000
訪問盗	13	13	0	11,212,000	86	84	2	104,895,000
詐欺盗その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	249	244	5	286,179,000	347	342	5	402,511,000
前年比	-98	-98	±0	-116,332,000				

イ 被害者（年代別・男女別）

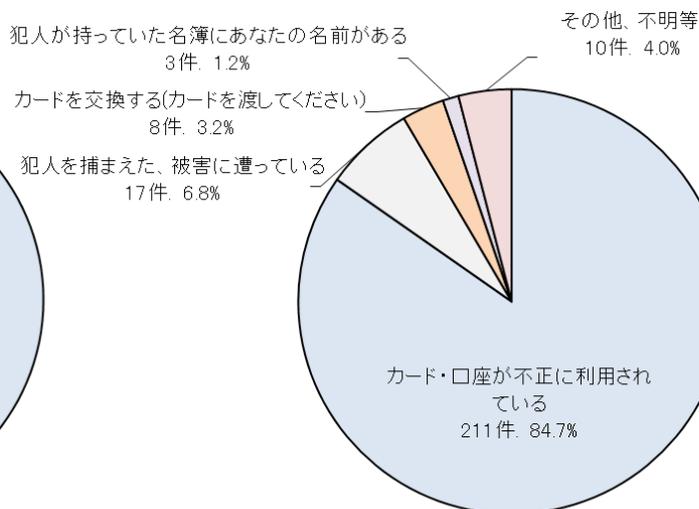
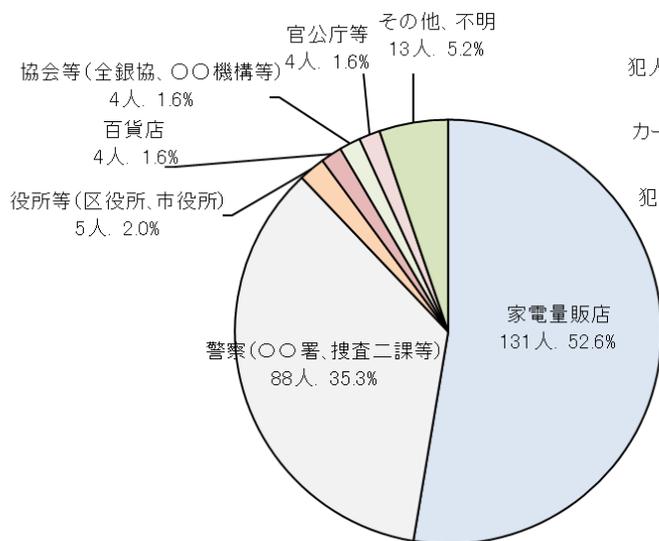


		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R6年	男性	0	0	1	1	1	9	56	6	74	29.7%
	割合	0.0%	0.0%	1.4%	1.4%	1.4%	12.2%	75.7%	8.1%	100.0%	
	女性	0	0	0	3	1	40	116	15	175	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.6%	22.9%	66.3%	8.6%	100.0%	
	合計	0	0	1	4	2	49	172	21	249	
	割合	0.0%	0.0%	0.4%	1.6%	0.8%	19.7%	69.1%	8.4%	100.0%	
		前年比	±0	±0	+1	+2	±0	-12	-95	+6	-98
		増減率	-	-	-	+100.0%	±0.0%	-19.7%	-35.6%	+40.0%	-28.2%
R5年	男性	0	0	0	1	1	8	32	7	49	14.1%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	2.0%	16.3%	65.3%	14.3%	100.0%	
	女性	0	0	0	1	1	53	235	8	298	85.9%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.3%	17.8%	78.9%	2.7%	100.0%	
		合計	0	0	0	2	2	61	267	15	347
		割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.6%	17.6%	76.9%	4.3%	100.0%

○ 被害者の割合は、ほぼ70代以上で占めており、男女別では、女性が約7割を占める。

エ 欺罔者(登場人物)、欺罔文言(だまし文句)別

【認知件数 249件】



※ 犯人が最初に騙った人物を計上

【キャッシュカード詐欺盗とは】

- 職権盗 ～ 警察官、金融庁及び市役所等の公務員又は公益事業者(水道局、電気会社及びガス会社等)などを騙る者が、カードの交換等の名目でキャッシュカード等を窃取するもの
- 訪問盗 ～ 百貨店店員、家電量販店店員及び銀行協会等を騙り、公務員、親族以外の者になりすましてカードの交換等の名目でキャッシュカードを窃取するもの

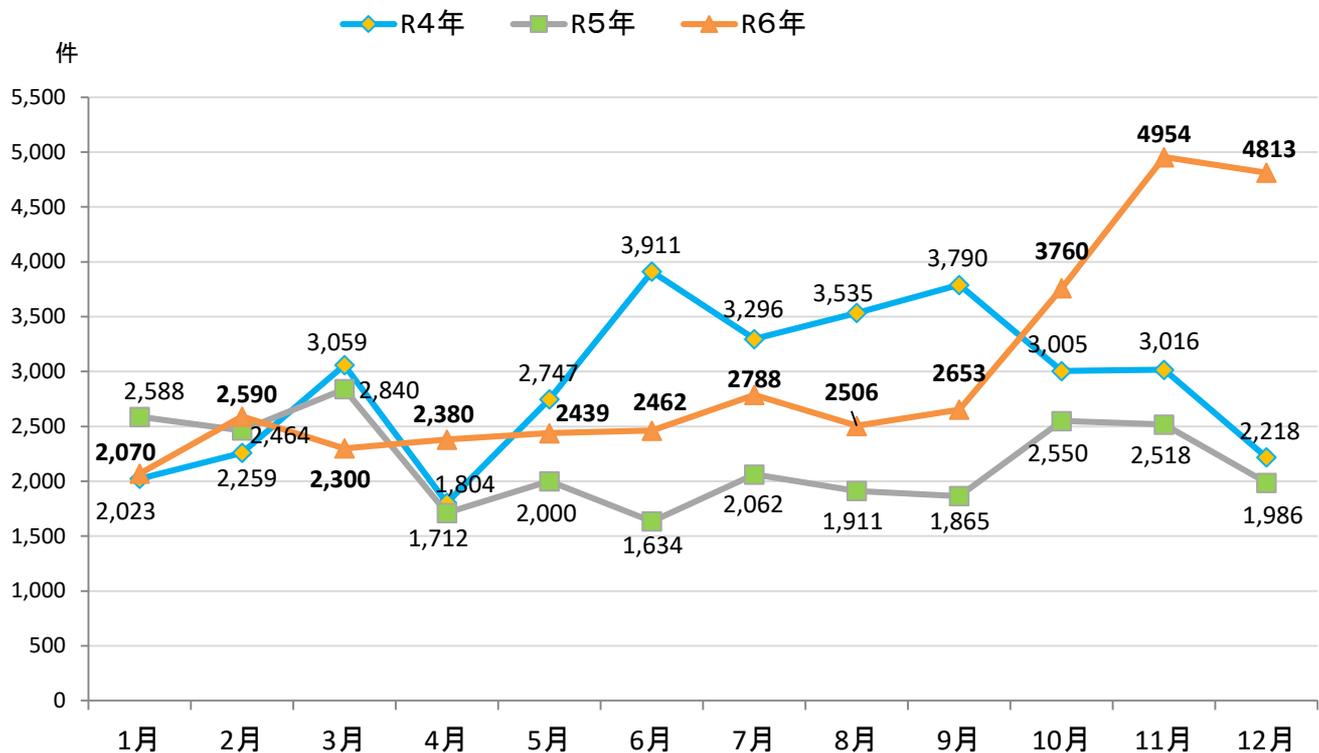
【主な手口】

- **キャッシュカード在中の封筒を別の封筒にすり替えて盗み取る**
警察官等を騙り、「犯人を逮捕しました。あなたの口座から現金が引き出されています。カードを確認する必要があります。」等とうそを言い、キャッシュカードをすり替えて、盗み取る手口

【手口例】

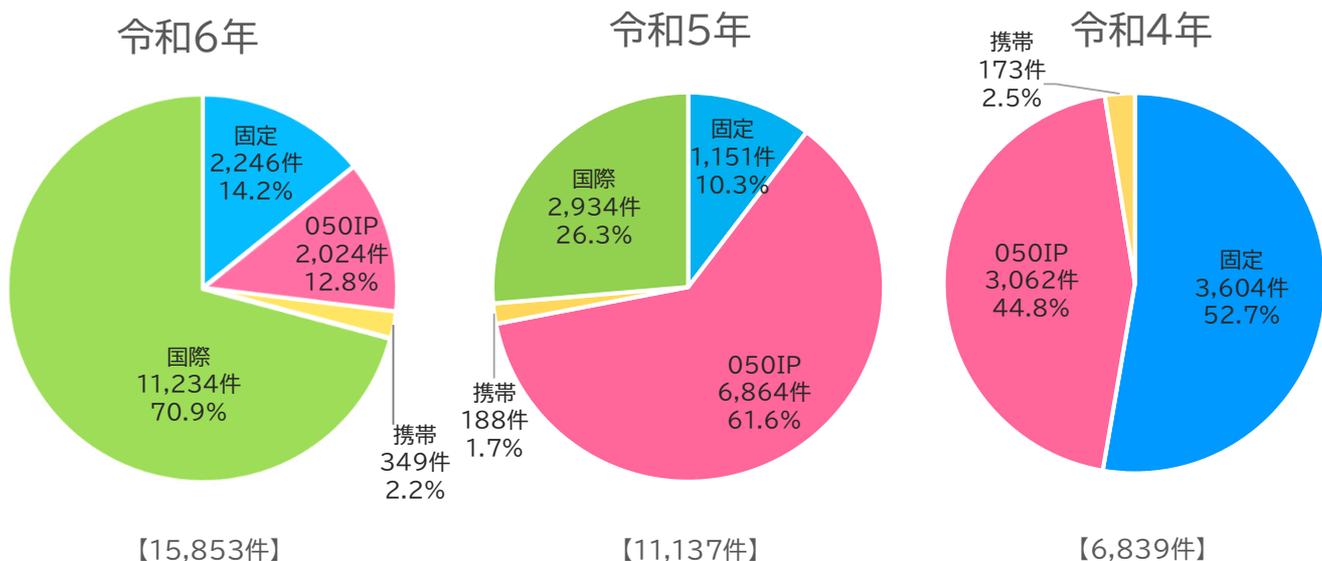
- 警察官等を騙り、被害者宅を訪れ、自ら準備してきた封筒に被害者名義等のキャッシュカード及び暗証番号記載のメモを入れさせた後、封印するために、「印鑑を持ってきてください。」と被害者に申し向け、被害者が印鑑を取りに行った際に、あらかじめ準備していたポイントカード、トランプ等在中の封筒にすり替えて、戻ってきた被害者にすり替えた封筒に封印させた後、「新しいカードが届くまで、この封筒は開封せずに保管しておいてください。」などと申し向け、すり替えたキャッシュカードを盗み取るもの

(12) 犯行予兆電話の通報件数



R 6年 3万5,715件 (前年比 +9,585件)
 R 5年 2万6,130件 (前年比 -8,533件)
 R 4年 3万4,663件 (前年比 +2件)

(13) 犯行利用電話の割合



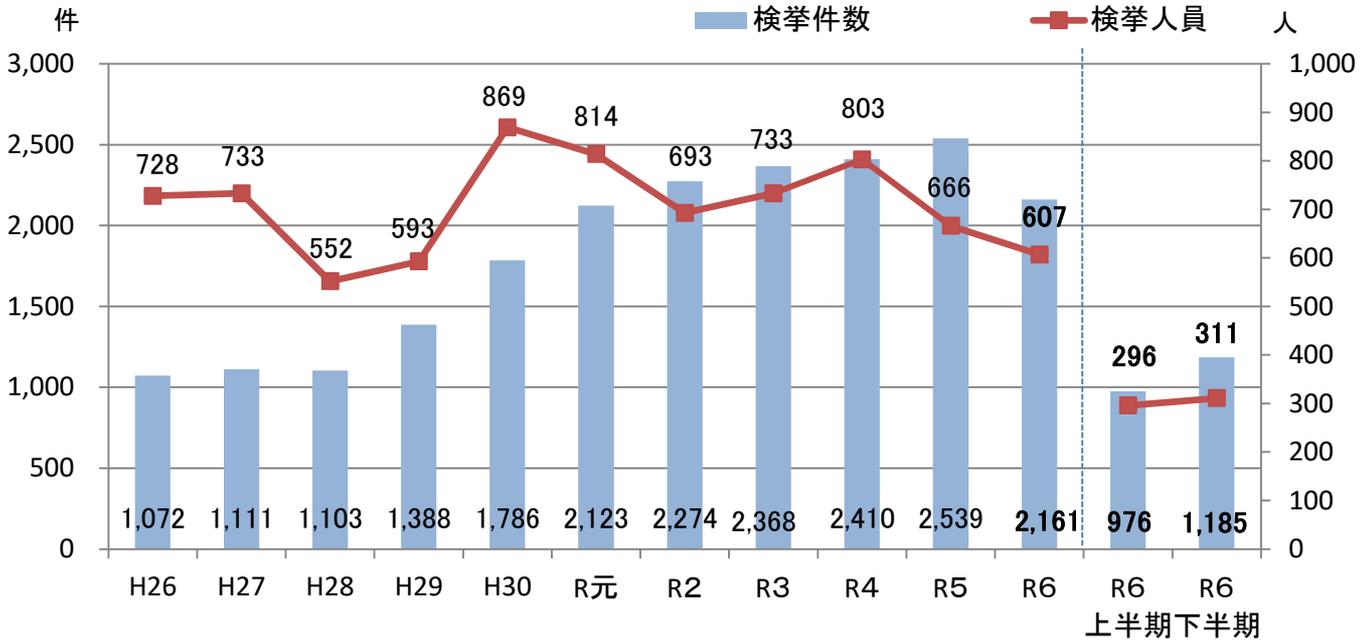
※ 当庁で把握した着信時における犯行利用電話番号の割合であり、非通知や電話番号不明のものは含まない。

※ 令和5年7月以降、国際電話番号の犯行利用が増加している。

2 検挙状況

(1) 特殊詐欺本犯

ア 検挙状況の推移 (H26～R6)



※ H25年からR元年まで「振り込め類似詐欺」を計上、H30年から「キャッシュカード詐欺盗」を計上

イ 類型別の検挙状況

	R6年								R5年			
	件数				人員				件数		人員	
	件数	割合	前年比	増減率	人員	割合	前年比	増減率	件数	割合	人員	割合
オレオレ詐欺	534	24.7%	-127	-19.2%	258	42.5%	-12	-4.4%	661	26.0%	270	40.5%
預貯金詐欺	506	23.4%	-45	-8.2%	104	17.1%	-49	-32.0%	551	21.7%	153	23.0%
架空料金請求詐欺	107	5.0%	-45	-29.6%	59	9.7%	+37	+168.2%	152	6.0%	22	3.3%
還付金詐欺	565	26.1%	-32	-5.4%	101	16.6%	-4	-3.8%	597	23.5%	105	15.8%
融資保証金詐欺	10	0.5%	+10	—	4	0.7%	+4	—	0	0.0%	0	0.0%
金融商品詐欺	11	0.5%	+3	+37.5%	6	1.0%	-13	-68.4%	8	0.3%	19	2.9%
ギャンブル詐欺	1	0.0%	±0	±0.0%	0	0.0%	±0	—	1	0.0%	0	0.0%
交際あっせん詐欺	0	0.0%	±0	—	0	0.0%	±0	—	0	0.0%	0	0.0%
その他の特殊詐欺	2	0.1%	±0	±0.0%	3	0.5%	+3	—	2	0.1%	0	0.0%
キャッシュカード詐欺盗	425	19.7%	-142	-25.0%	72	11.9%	-25	-25.8%	567	22.3%	97	14.6%
合計	2,161	100.0%	-378	-14.9%	607	100.0%	-59	-8.9%	2,539	100.0%	666	100.0%

○ 前年と比べ、検挙件数、検挙人員ともに減少した。

ウ 犯行拠点（アジト）摘発状況

	摘発箇所	検挙人員
R6年	9	64
R5年	3	21
前年比	+6	+43

エ 検挙人員（年代別・男女別）

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別割合
R6年	男	109	230	112	57	30	7	2	1	0	548	90.3%
	割合	19.9%	42.0%	20.4%	10.4%	5.5%	1.3%	0.4%	0.2%	0.0%	100.0%	
	女	11	21	15	5	4	3	0	0	0	59	9.7%
	割合	18.6%	35.6%	25.4%	8.5%	6.8%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	120	251	127	62	34	10	2	1	0	607	
	割合	19.8%	41.4%	20.9%	10.2%	5.6%	1.6%	0.3%	0.2%	0.0%	100.0%	
	前年比	+15	-60	-15	-2	-2	+5	-1	+1	±0	-59	
増減率	+14.3%	-19.3%	-10.6%	-3.1%	-5.6%	+100.0%	-33.3%	-	-	-8.9%		
R5年	男	94	277	126	59	31	3	1	0	0	591	88.7%
	割合	19.1%	46.9%	17.3%	10.2%	4.3%	0.8%	1.3%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女	11	34	16	5	5	2	2	0	0	75	11.3%
	割合	15.8%	31.6%	31.6%	13.2%	5.3%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	105	311	142	64	36	5	3	0	0	666	
割合	15.8%	46.7%	21.3%	9.6%	5.4%	0.8%	0.5%	0.0%	0.0%	100.0%		

○ 年代別では、10代から30代までで、全体の約8割を占める。

○ 男女別では、男が約9割を占めており、前年に比べ、女の割合が減少した。

オ 検挙人員（少年・暴力団・外国人別）

		検挙人員	うち少年	うち暴力団	うち外国人
R6年	男	548	103	81	22
	女	59	11	1	4
	合計	607	114	82	26
	前年比	-59	+14	-10	-4
	割合	100.0%	18.8%	13.5%	4.3%
R5年	男	591	89	89	26
	女	75	11	3	4
	合計	666	100	92	30
	割合	100.0%	15.0%	13.8%	4.5%

○ 検挙人員のうち、少年は約2割を占めており、前年と比べ人員が増加した。

カ 検挙人員（役割別・男女別）

		首魁	指示役	架け子	出し子	受け子	見張り役	リクルーター	その他	合計
R6年	男	17	8	21	88	304	4	43	63	548
	女	0	0	0	12	33	0	0	14	59
	合計	17	8	21	100	337	4	43	77	607
	前年比	+5	-1	-12	+2	-51	-17	+6	+9	-59
	割合	2.8%	1.3%	3.5%	16.5%	55.5%	0.7%	7.1%	12.7%	100.0%
R5年	男	12	9	29	83	338	19	36	65	591
	女	0	0	4	15	50	2	1	3	75
	合計	12	9	33	98	388	21	37	68	666
	割合	1.8%	1.4%	5.0%	14.7%	58.3%	3.2%	5.6%	10.2%	100.0%

○ 役割別では、受け子が全体の約6割を占めており、男女別では、男が約9割を占める。

(2) 特殊詐欺助長犯

類型別の検挙状況

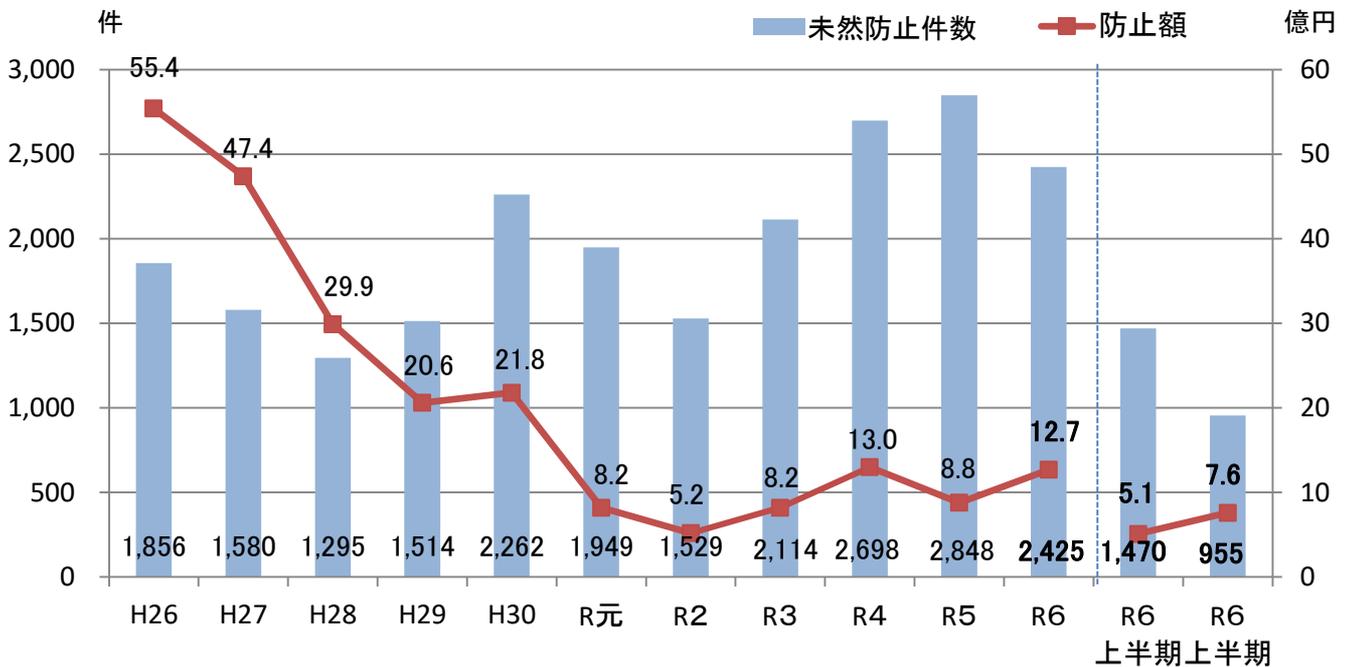
		口座開設詐欺	携帯電話契約詐欺	犯罪収益移転防止法違反	携帯電話不正利用防止法違反	組織犯罪処罰法違反	合計
検挙件数	R6年	127	51	528	0	81	787
	R5年	88	56	408	2	51	605
	前年比	+39	-5	+120	-2	+30	+182
	増減率	+44.3%	-8.9%	+29.4%	-100.0%	+58.8%	+30.1%
検挙人員	R6年	78	43	448	0	4	573
	R5年	55	46	355	2	5	463
	前年比	+23	-3	+93	-2	-1	+110
	増減率	+41.8%	-6.5%	+26.2%	-100.0%	-20.0%	+23.8%

○ 助長犯の検挙は、前年と比べ、検挙件数が182件増加し、検挙人員が110人増加した。

3 未然防止等の状況

(1) 未然防止全体

ア 未然防止の推移



○ 未然防止件数は、前年と比べ423件減少、防止額は、前年同期と比べ約3.9億円増加した。

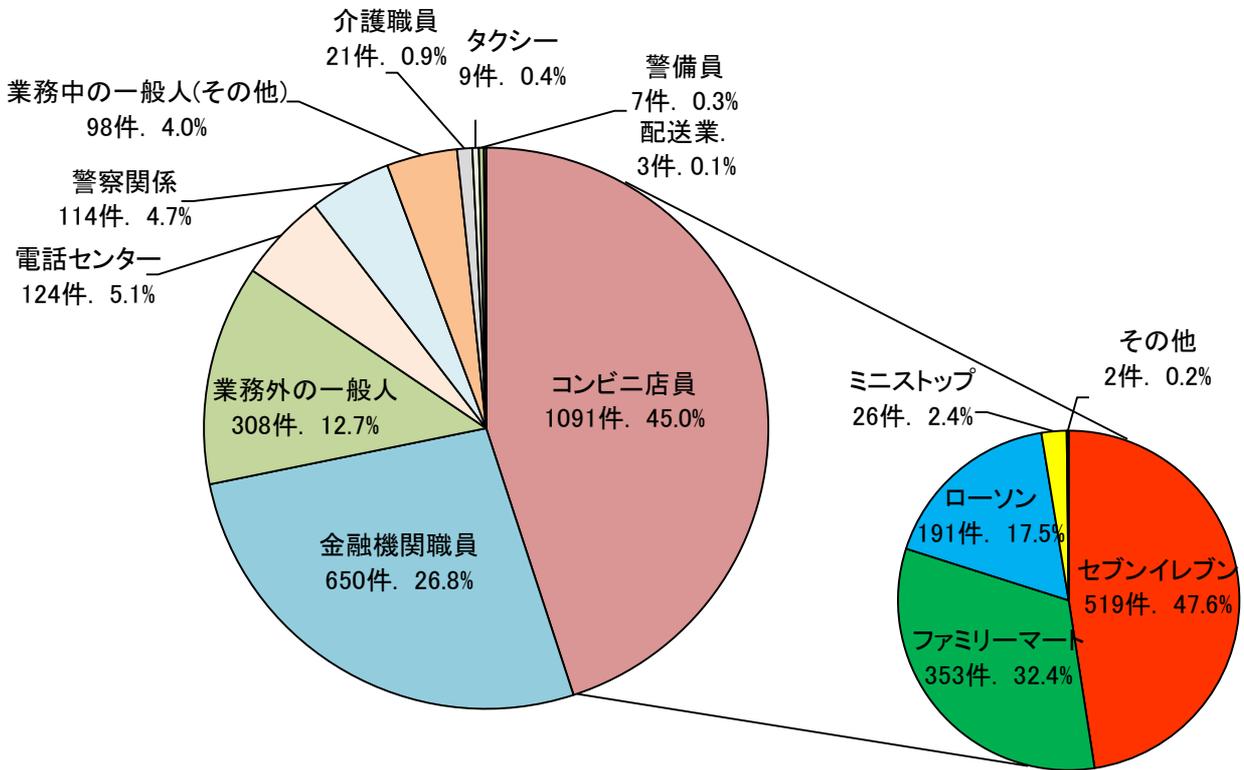
イ 職種別の未然防止状況

		金融機関職員	警察関係	電話センター	コンビニ店員	業務中の一般人					業務外の一般人	合計
						警備員	介護職員	タクシー運転手	配送業	その他		
防止件数	R6年	650	114	124	1,091	7	21	9	3	98	308	2,425
	割合	26.8%	4.7%	5.1%	45.0%	0.3%	0.9%	0.4%	0.1%	4.0%	12.7%	100.0%
	前年比	+87	-32	-94	-384	-7	-7	+4	-2	+35	-23	-423
	増減率	+15.5%	-21.9%	-43.1%	-26.0%	-50.0%	-25.0%	+80.0%	-40.0%	+55.6%	-6.9%	-14.9%
	R5年	563	146	218	1,475	14	28	5	5	63	331	2,848
防止額	R6年	952,072,249	19,137,614	0	107,744,390	199,600	5,220,000	794,220	16,299,600	21,173,080	149,177,150	1,271,817,903
	割合	74.9%	1.5%	0.0%	8.5%	0.0%	0.4%	0.1%	1.3%	1.7%	11.7%	100.0%
	前年比	+352,347,532	-1,873,986	±0	-28,217,218	+49,600	-22,070,000	-2,605,380	-4,730,400	-3,838,220	+100,813,990	+389,875,918
	増減率	+58.8%	-8.9%	±0.0%	-20.8%	+33.1%	-80.9%	-76.6%	-22.5%	-15.3%	+208.5%	+44.2%
	R5年	599,724,717	21,011,600	0	135,961,608	150,000	27,290,000	3,399,600	21,030,000	25,011,300	48,363,160	881,941,985

※ 業務外の一般人とは、友人、知人、ATM利用者等を示す

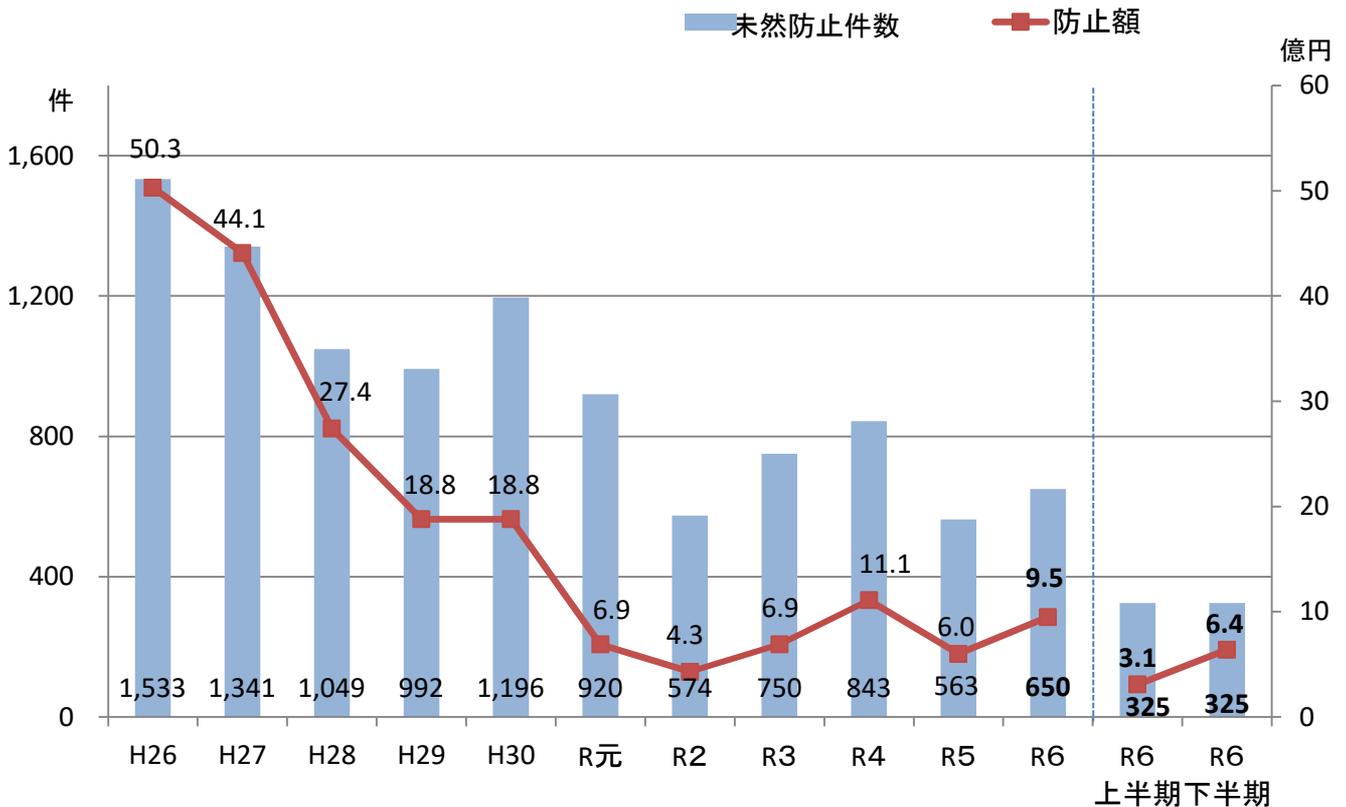
- コンビニ店員による未然防止が、全体の約5割を占める。
- 金融機関職員による未然防止が、前年と比べ、15.5%(87件)増加した。

【未然防止件数 2,425件】



(2) 金融機関による未然防止

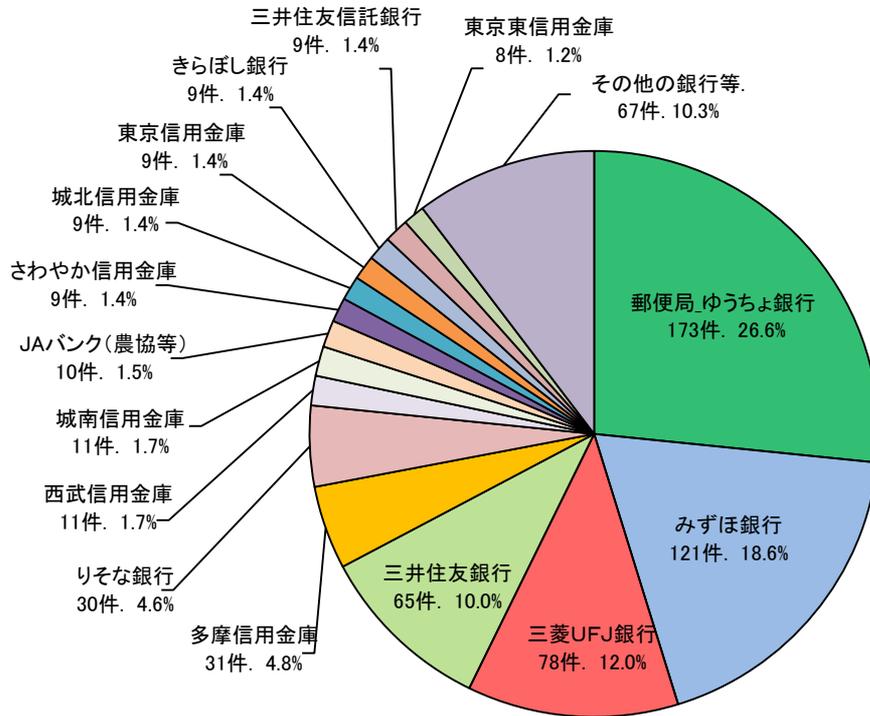
ア 未然防止の推移



○ 未然防止件数は、前年と比べ87件増加、防止額は、約3.5億円増加した。

イ 金融機関別の未然防止状況

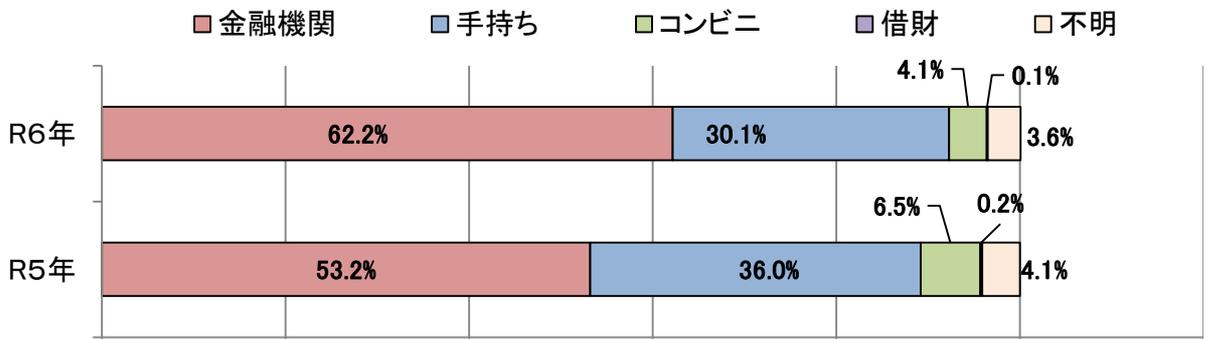
【未然防止件数 650件】



(3) 被害金調達状況(全体)

現金手交及び現金送付にかかる被害金(現金)調達回数

	金融機関	コンビニ	借財	手持ち	その他不明	合計
R6年	905	59	1	438	52	1,455
割合	62.2%	4.1%	0.1%	30.1%	3.6%	100.0%
R5年	657	80	3	444	50	1,234
割合	53.2%	6.5%	0.2%	36.0%	4.1%	100.0%



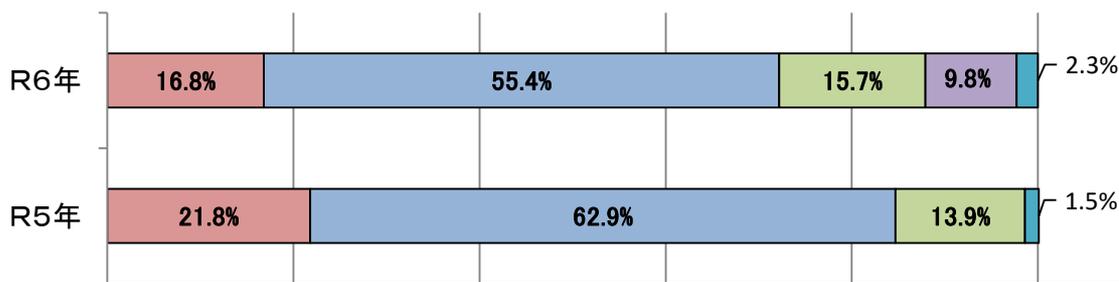
○ 被害金(現金)の調達は、「金融機関」の占める割合が増加した。

(4) 金融機関における被害金調達

方法別の被害金(現金)調達回数

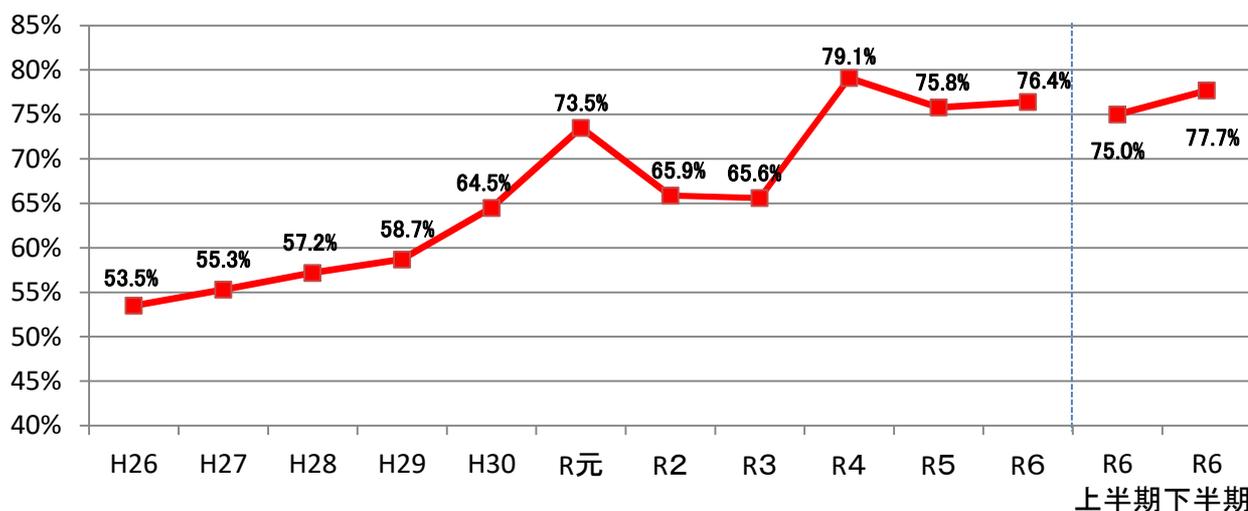
	窓口	A T M				その他不明	合計
		店舗内ATM	無人ATM	不明ATM	小計		
R6年	152	501	142	89	732	21	905
割合	16.8%	55.4%	15.7%	9.8%	80.9%	2.3%	100.0%
R5年	143	413	91	0	504	10	657
割合	21.8%	62.9%	13.9%	0.0%	76.7%	1.5%	100.0%

■窓口 ■店舗内ATM ■無人ATM ■不明ATM ■その他・不明



○ ATMでの調達の割合は、店舗内と無人等を合わせて全体の約8割を占める。

(5) 金融機関窓口による未然防止率



※ 未然防止率

= 窓口での未然防止件数(491件) ÷ ((窓口での未然防止件数(491件) + 窓口での引き出し件数(152件)) × 100

○ 被疑者は、被害者が金融機関で現金を調達する際に、行員等にその理由を聞かれることを想定し、被害者に対して次のように答えるように指示している場合がある。

- ・ リフォーム代、修繕費用として
- ・ 法事で使うため
- ・ お墓を購入するため
- ・ 手術代、入院費用として
- ・ 不動産購入のため
- ・ 借金返済のため 等

(6) 未然防止の好事例

1 携帯ショップ店員による未然防止

防止者が、店内で勤務中、被害者（60代・男性）が慌てた様子で来店し、「すぐに購入したい」と携帯電話機の購入を申し出たことから、違和感を感じ、購入理由を質問した。被害者は「大阪府警の刑事とビデオ通話しなければならない。このままでは逮捕されてしまう。私はガラケーなので、ビデオ通話が出来ない」等と話したことから詐欺ではないかと思い、「警察に確認しましょう」と説得し、その場で警察署に電話をさせ、被害を未然に防止した。

2 タクシー運転手による未然防止

防止者が、被害者（70代・女性）を乗車させ、指定された目的地に向かっていたところ、被害者が車内で通話をしながら、慌てた様子で目的地の変更を申し出たことから、不審に思い、理由を尋ねた。被害者は「携帯料金の未払いがあつて、本社に直接支払いに来るよう言われた。でも、渋滞で時間間に合わないと伝えたら、支払い場所を変更された」等と話したことから、「それは詐欺です、警察官に話しましょう」と説得し、近くの交番まで送り届け、被害を未然に防止した。

3 訪問診療による未然防止

防止者らが、歯科診療のため被害者（80代・女性）宅を訪問したところ、被害者は通話中で、応接室で待つよう言われた。待機していると、被害者が「通帳番号は・・・」と通話しているのが聞こえたことから詐欺を疑い、通話している受話器を取り、「あなたは誰、連絡先を教えてください」と尋ねるとすぐに電話を切られたことから、詐欺と確信、被害者に説明し、被害を未然に防止した。

4 リフォーム業者による未然防止

防止者が被害者(50代・女性)宅の修繕作業中、被害者が慌てた様子で電話に出たのを不審に思い、通話内容を聞いていると、「携帯会社」や「大阪府警」等という話が出てきたため、詐欺と確信した。電話が切れたタイミングで被害者に「詐欺の電話なので、また電話が来たら警察に問い合わせると言って下さい」と指示した上で、交番に行くよう説得し、被害を未然に防止した。

5 配送業者による未然防止

防止者は、荷物の配送作業中、過去に送付型の配送先として使用された部屋を宛先とする荷物があったことから、上司とともに配送先に行ったところ、不審な男が部屋の前をうろついていた。男は、防止者らの姿を見るなり立ち去ったことから、不審に思い、110番通報し、警察官が荷物の依頼主に連絡を取り、立ち会いの下、荷物の中身を確認したところ、中に多額の現金が在中しており、被害者が息子を騙ったものから依頼され、現金を送付していたことが判明、被害を未然に防止した。